

教 育 要 覧

令 和 7 年 度



海 老 名 市 教 育 委 員 会

目 次

第1章 教育行政・・・・・・・・・・	1	第5章 文化財・・・・・・・・・・	95
1 教育委員会・・・・・・・・・・	2	1 文化財関係施設・・・・・・・・	96
2 教育委員会会議等・・・・・・・・	3	2 文化財の保護・・・・・・・・	100
3 教育計画・・・・・・・・・・	9	3 文化財の活用・・・・・・・・	102
4 組織図・・・・・・・・・・	24	4 指定・登録文化財一覧・・	105
5 事務分掌・・・・・・・・・・	25		
6 職員数・・・・・・・・・・	27	＜資料＞・・・・・・・・・・	109
		1 歴代教育委員・教育長・・	110
第2章 教育財政・・・・・・・・・・	29	2 附属機関名簿・・・・・・・・	113
1 教育費の推移・・・・・・・・・・	30	3 海老名市教育委員会のあゆみ・・	121
2 令和7年度歳出当初予算・・	31		
第3章 学校教育・・・・・・・・・・	33		
1 学校施設・・・・・・・・・・	34		
2 児童生徒数・学級数・・	36		
3 学校教育の方針・・・・・・・・	37		
4 学校紹介・・・・・・・・・・	40		
5 教職員研修・・・・・・・・・・	46		
6 教育支援・・・・・・・・・・	56		
7 教育相談・・・・・・・・・・	66		
8 安全対策・・・・・・・・・・	67		
9 学校保健・・・・・・・・・・	71		
10 学校給食・・・・・・・・・・	74		
11 就学援助・・・・・・・・・・	77		
12 奨学金・・・・・・・・・・	78		
13 保護者負担軽減・・・・・・・・	79		
第4章 社会教育・その他・・	83		
1 社会教育の推進・・・・・・・・	84		
2 子ども・学校支援事業・・	89		
3 青少年健全育成・・・・・・・・	90		
4 図書館・・・・・・・・・・	91		
5 学童保育クラブ・・・・・・・・	93		
6 ライフ・スタディサポート事業・・	94		



第1章 教育行政

1 教育委員会

(令和7年4月1日時点)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期	備考
教育長	伊 藤 文 康	平成27年4月1日	令和6年4月1日 ～令和9年3月31日	
教育長 職務代理者	藤 吉 ひとみ	令和6年12月14日	令和6年12月14日 ～令和10年12月13日	
委 員	海 野 望	令和5年4月1日	令和5年4月1日 ～令和7年12月12日	
委 員	濱 田 望	令和2年2月1日	令和6年2月1日 ～令和10年1月31日	
委 員	武 井 哲 也	令和3年10月1日	令和4年10月1日 ～令和8年9月30日	



教育長職務代理者
藤吉 ひとみ



教育長
伊藤 文康



委員
武井 哲也



委員
濱田 望



委員
海野 望

2 教育委員会会議等

(1) 令和6年度活動状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月	日	種 別	内 容
4	1 (月)	その他の活動	教職員辞令交付式 教育委員辞令交付式
	5 (金)	その他の活動	中学校入学式
	8 (月)	その他の活動	小学校入学式
	19 (金)	その他の活動 定例会	<p>教育課題研究会 報告事項 14 件</p> <p>①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②令和5年度海老名市一般会計補正予算（第14号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③令和6年度海老名市一般会計補正予算（第1号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ④海老名市教育委員会非常勤特別職（文化財保護審議会委員）の委嘱について ⑤海老名市教育委員会非常勤特別職（奨学生選考委員会委員）の委嘱について ⑥海老名市教育委員会非常勤特別職（学校運営協議会委員）の委嘱について ⑦海老名市私立小中学校、特別支援学校、区域外小中学校及び中学校夜間学級在学児童生徒等に係る教材費補助金交付要綱の一部改正について ⑧海老名市スクールライフサポート実施要綱の一部改正について ⑨海老名市立小中学校教職員等の学校給食費に関する要綱の一部改正について ⑩海老名市中学校部活動充実支援交付金交付要綱の一部改正について ⑪海老名市中学校部活動大会派遣事業補助金交付要綱の一部改正について ⑫海老名市野外教育活動推進事業負担金交付要綱の一部改正について ⑬海老名市児童健全育成対策（放課後児童クラブ）事業補助金要綱の一部改正について ⑭いじめ等に関する「重大事態事案」の調査結果の報告について</p> <p>審議事項 3 件</p> <p>①令和6年度（令和5年度対象）教育委員会事務の点検・評価実施方針及び評価対象について ②教育委員会所管施設の個別施設計画の改定について ③海老名市登録文化財の登録について</p>

月	日	種 別	内 容
4	2 1 (日)	総合教育会議	第 1 回総合教育会議 (えびなこどもセンター 201会議室) 協議事項 5 件 ①フルインクルーシブ教育について ②海老名市立学校における保護者負担経費のあり方検討委員会について ③海老名市学校施設再整備計画の改定について ④教育大綱の取組について ・「幼保小の架け橋プログラム」の導入 ⑤教育大綱の文言修正について
5	1 3 (月)	その他の活動 臨時会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①いじめ等に関する「重大事態事案」の調査結果の報告について 審議事項 2 件 ①令和 7 年度使用「海老名市教科用図書採択基本方針」について ②令和 6 年度海老名市教科用図書採択資料作成委員会委員の委嘱について
	2 2 (水)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①海老名市学童保育クラブ耐震診断費補助金交付要綱の制定について 審議事項 2 件 ①令和 6 年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について ②令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 2 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について
	2 5 (土)	その他の活動	小学校運動会視察（東柏ヶ谷小）
	3 1 (金)	その他の活動	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会第 1 回総会
6	1 (土)	その他の活動	小学校運動会視察（海老名小）
	6 (木)	その他の活動	教科書学習会
	2 2 (土)	その他の活動	教育長・教育委員と語る会（P T A）
	2 8 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 3 件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②令和 6 年度海老名市教育委員会非常勤特別職（社会教育委員）の委嘱について ③海老名市児童健全育成対策（放課後児童クラブ）事業補助金交付要綱の改正について 審議事項 1 件 ①令和 6 年度海老名市奨学生の決定について
7	2 (火)	その他の活動	教科書学習会
	1 0 (水)	その他の活動	教科書学習会

月	日	種 別	内 容
7	1 3 (土)	総合教育会議	第2回総合教育会議 (富士フイルムビジネスイノベーション(株)海老名事業所) 協議事項3件 ①教育大綱の取組について一文化財の保護と積極的な活用— ②学校と企業の連携の在り方について ③英語教育について
	1 7 (金)	その他の活動	教育課題研究会
	2 4 (金)	定例会	審議事項1件 ①令和7年度使用教科用図書採択について
8	8 (木)	その他の活動	教育課題研究会
	2 0 (火)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項6件 ①条例改廃に係る意見の申出について(海老名市柏ヶ谷地区 住居表示実施に伴う関係条例の整理に関する条例) ②海老名市立小学校及び中学校体育施設の空調設備利用に係 る実費徴収要綱の改正について ③令和6年度海老名市一般会計補正予算(第4号)のうち教 育に関する部分に係る意見の申出について ④物品の取得に関する意見の申出について(教育用タブレッ ト端末等) ⑤令和5年度海老名市一般会計歳入歳出決算認定のうち教育 に関する部分に係る意見の申出について ⑥令和6年度海老名市教育委員会非常勤特別職(学校歯科 医)の委嘱について 審議事項3件 ①令和6年度(令和5年度対象)教育委員会事務の点検・評 価について ②「海老名市立学校における学校教育法の施行に関する規 則」の一部改正について ③「海老名市学校給食費に関する条例施行規則」の一部改正 について
	2 3 (金)	その他の活動	ひびきあう教育研究発表大会
9	2 5 (水)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項3件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について ②工事請負契約の変更に関する意見の申出について(海老名 市立中新田小学校校舎外装改修工事) ③海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金交 付要綱の改正について
1 0	5 (土)	その他の活動	小学校運動会視察(門沢橋小)
	6 (日)	その他の活動	小学校運動会視察(社家小)
	1 0 (木)	その他の活動	中学校体育祭(有馬中)
	1 2 (土)	その他の活動	小学校運動会視察(柏ヶ谷小、有鹿小、有馬小、中新田小、上 星小、今泉小、杉本小)

月	日	種 別	内 容
1 0	1 7 (木)	その他の活動	中学校体育祭（大谷中）
	1 8 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①海老名市教育委員会関係職員の人事異動について 審議事項 1 件 ①令和 6 年度末県費負担教職員人事異動方針について
	2 4 (木)	その他の活動	中学校体育祭（海老名中、海西中、柏ヶ谷中、今泉中）
	2 5 (金)	その他の活動	小学校連合運動会（総合運動公園）
1 1	8 (金)	その他の活動	教育委員県外研修（群馬県太田市）
	9 (日)	その他の活動	教育委員県外研修（群馬県太田市）
	1 6 (土)	その他の活動	小学校運動会視察（大谷小）
	1 9 (火)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 6 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について 審議事項 1 件 ①令和 6 年度全国学力・学習状況調査の公表内容について
	2 3 (土)	その他の活動 総合教育会議	小学校運動会視察（杉久保小） 第 3 回総合教育会議 （㈱リコー リコーテクノロジーセンター） 協議事項 3 件 ①学校の D X 化の促進 ②こども・学校支援事業の実践 ③魅力ある学校給食の実現
1 2	1 9 (木)	その他の活動	教育委員辞令交付式（藤吉委員）
	2 0 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 1 件 ①令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 7 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について 審議事項 1 件 ①教育財産（有鹿小学校用地）の取得の申出について
1	1 0 (金)	その他の活動	賀詞交歓会（市長、学校長、教育委員）
	1 3 (月)	その他の活動	海老名市二十歳の祝典
	2 4 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 2 件 ①令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 8 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ②海老名市学校給食費に関する条例の一部改正について
	2 6 (日)	その他の活動	新春はやし叩き初め大会
	2 7 (月)	その他の活動	ひびきあう教育実践研究校発表会（今泉小）
	3 1 (金)	その他の活動	ひびきあう教育実践研究校発表会（有馬小）

月	日	種 別	内 容
2	7 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 審議事項 4 件 ①海老名市保護者負担経費の方針について ②条例の一部改正に係る意見の申出について（海老名市学校給食費に関する条例） ③市費負担加配教員の配置について ④令和 7 年度特色ある学校づくり実践事業費について
	1 5 (土)	総合教育会議	第 4 回総合教育会議 （小田急電鉄株 海老名本社） 協議事項 3 件 ①ロマンスカーミュージアムと教育委員会の連携 ②教育大綱の取組について ・放課後児童クラブの充実 ③小田急電鉄「A0i スクール」の取組について
	1 7 (月)	その他の活動	ひびきあう教育実践研究校発表会（今泉中）
	2 2 (土)	その他の活動	P T A 活動研究集会
3	1 (土)	その他の活動	神奈川県立高等学校卒業式
	7 (金)	その他の活動 定例会	教育課題研究会 報告事項 3 件 ①令和 6 年度海老名市一般会計補正予算（第 9 号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ②令和 7 年度海老名市一般会計当初予算のうち教育に関する部分に係る意見の申出について ③工事請負契約の締結に関する意見の申出について（海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事） 審議事項 3 件 ①海老名市学校施設再整備計画に係る今後の方針について ②県費負担教職員の人事異動について ③海老名市教育委員会非常勤特別職（学校医）の委嘱について
	1 2 (水)	その他の活動	中学校卒業式
	1 9 (水)	その他の活動	小学校卒業式
	2 5 (火)	その他の活動 臨時会	教育課題研究会 審議事項 4 件 ①海老名市教育委員会公印規程の一部改正について ②海老名市教育委員会事務局及び教育機関の組織等に関する規則の一部改正について ③海老名市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則施行規程の一部改正について ④海老名市フルインクルーシブ教育推進ビジョンと 5 年間の取組計画について
	3 1 (月)	その他の活動	教職員辞令交付式

(2) 教育委員会会議の開催時期等

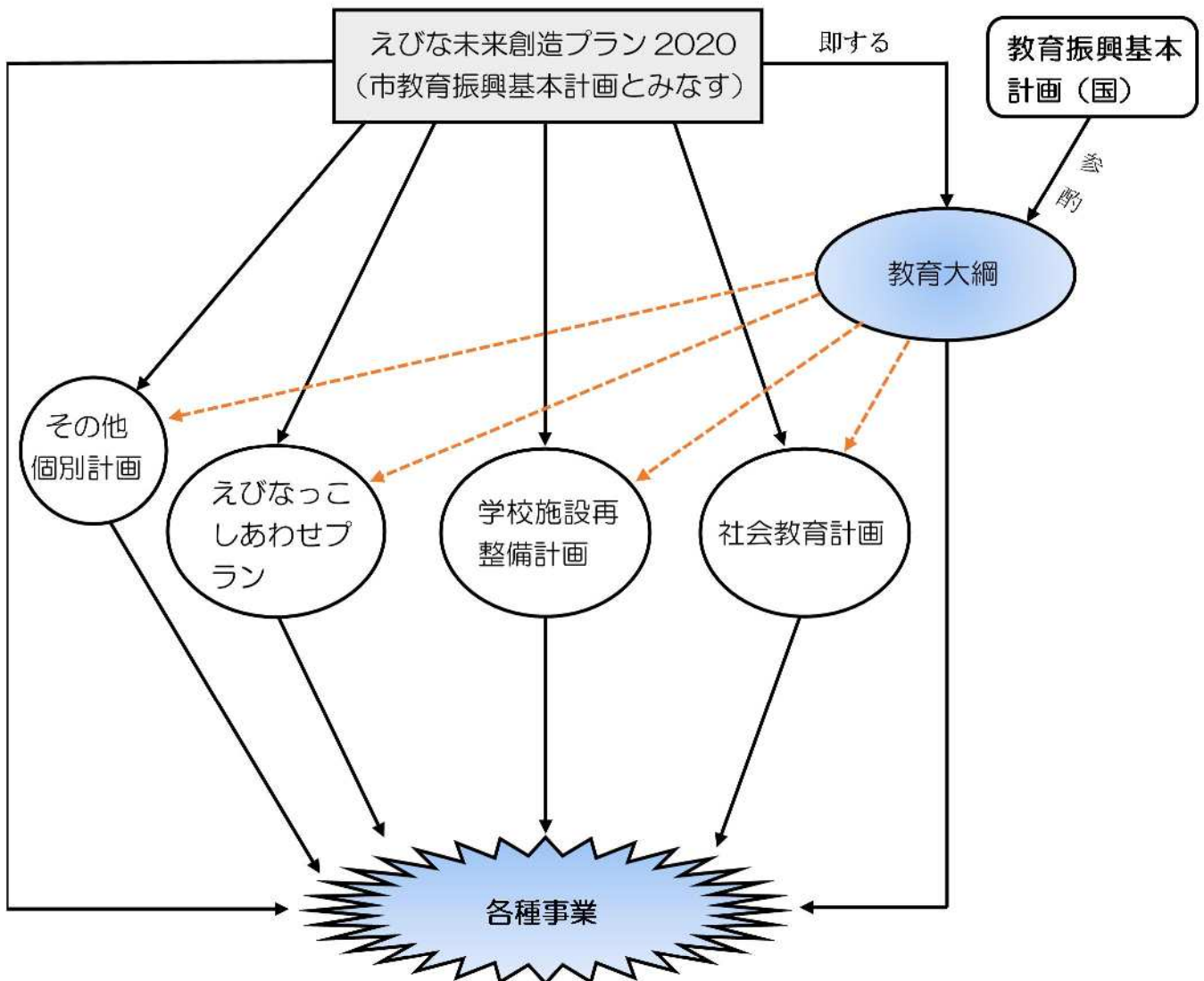
開催時期	会議時間	審議事項	報告事項	傍聴者数
令和6年4月定例会	2時間05分	3件	14件	1名
5月臨時会	1時間12分	2件	1件	0名
5月定例会	1時間04分	2件	1件	0名
6月定例会	1時間10分	1件	3件	2名
7月定例会	6時間13分	1件	0件	21名
8月定例会	2時間02分	3件	6件	1名
9月定例会	0時間40分	0件	3件	0名
10月定例会	0時間49分	1件	1件	1名
11月定例会	1時間18分	1件	1件	1名
12月定例会	1時間12分	1件	1件	2名
令和7年1月定例会	1時間00分	0件	2件	4名
2月定例会	1時間33分	4件	0件	1名
3月定例会	1時間33分	3件	3件	2名
3月臨時会	0時間49分	4件	0件	0名

3 教育計画

(令和7年4月1日時点)

(1) 海老名市の教育計画の相関図

各種教育計画（イメージ図）



- えびな未来創造プラン2020・・・行政を運営するための最上位計画
- 海老名市教育大綱・・・・・・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定した、海老名市の教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施策の大綱
- えびなっこしあわせプラン・・・家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り組む教育計画
- 学校施設再整備計画・・・・・・・・公共施設再編（適正化）計画の分野別計画
- 社会教育計画・・・・・・・・教育大綱に掲げる「子どもと大人がともに成長する社会」の構築を基本目標とする計画

(2) えびな未来創造プラン2020

ア 概要

10年後のめざす姿である「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」の実現に向けて、まちづくりの方針を定める市の羅針盤となるもので、計画的に行政を運営するための最上位計画です。

イ 計画期間

10年間（令和2年度から令和11年度まで）

なお、社会経済情勢等の変化に伴い、本計画の方向性に大きな影響を及ぼす事象が生じた場合は、見直しを図るものとします。

ウ 所管課

企画財政課

エ 内容

次ページ以降に抜粋を掲載しています。

えびな 未来創造プラン2020

み	ん	な	が	笑	顔	
住	み	や	す	い	ま	ち





5

教育

豊かな学びを育むまち

本市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちの「しあわせ」、家庭・学校・地域の「しあわせ」を目指します。

本市の学校教育の方針「えびなっ子しあわせプラン」に基づき、えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることを目指し、「授業改善」「新たな教育課程」「小中一貫教育」「コミュニティスクール」の3つを重点に学校教育に取り組みます。

子どもと大人がともに成長する社会の実現を目指し、図書館の進化、文化財の積極的な活用、生涯学習の充実などに取り組みます。

新たな学校施設への取り組みを進めるとともに、子育て環境の充実を図ります。

これらの取り組みを通じ、「しあわせをはぐくむ教育のまち」海老名を実現いたします。



5-1

ひびきあう教育の実現

5 教育

5-1

ひびきあう教育の実現

めざす姿

- ① 学校施設の再整備などを通じ、子どもたちが安全で快適な学校で学習できるような教育環境の維持向上が図られています。
- ② 児童生徒の安全安心及び学力向上に向け、市費で教職員を配置することにより、学習環境の充実が図られています。
- ③ 地産地消で安全安心かつ、栄養バランスのとれた美味しい給食が提供されています。
- ④ 学習指導要領（※61）の改訂内容を踏まえ、ICT 機器の活用による児童生徒の情報活用能力の育成が図られています。
- ⑤ 教職員の主体的な研究活動を支援するとともに、教職員に対する効果的な研修を実施することにより、教育指導・支援の充実が図られています。
- ⑥ 児童生徒の英語による自己表現力や、コミュニケーション能力を伸ばし、グローバル化に対応できる人材を育成しています。
- ⑦ 「小学校・中学校のつながり」「地域・学校のつながり」が充実し、子どもの豊かな「学び」「育ち」が図られています。
- ⑧ 支援を必要とする児童生徒が、安心して、充実した学校生活を送れるよう、支援体制の整備・充実が図られています。
- ⑨ 学校は、乳幼児から高齢者まで集い、学ぶことのできる、地域コミュニティの拠点施設となっています。
- ⑩ 図書館は、子どもから大人まで、多くの市民が集う「学び」と「コミュニティ」の拠点となっています。
- ⑪ 子どもたちの社会教育活動の充実を図るため、補助支援を継続しつつ、自発的な活動を支援しています。
- ⑫ 市民の自己啓発を通して生きがいを持ち、交流の場が図られています。
- ⑬ 学童保育のニーズは、今後も増加が見込まれるため、受け入れ先の確保ができるよう支援を行っています。
- ⑭ 市民にとって開かれた教育委員会になっています。
- ⑮ 温故館や相模国分寺跡などは、海老名駅北口などからのアクセス向上や、内容の充実により、海老名の歴史・文化財の情報発信拠点となっています。
- ⑯ 誰もがいつでも必要な資料を閲覧できるように、歴史資料のデジタル化や積極的な公開を継続しています。

関連する
主な個別計画等

■ 教育大綱
■ えびなっ子しあわせプラン

■ 社会教育計画
■ 学校施設再整備計画

関連する SDGs



地域とのつながりのなかで教育を行い、
生涯学べる場所があるから、
みんなが笑顔になります。



今後の方針

- 学校施設の整備にあたっては、人口動向や社会情勢等を的確に見極め、統廃合、複合化、多機能化等に取り組みます。また、学校施設再整備計画については、一定の周期で見直しを図ります。(① ⑨)
- 弁護士による法律相談や、効果的な非常勤講師の配置により、いじめ等に対する適切な体制を確保します。(②)
- 効果的な非常勤講師の配置により、指導体制の充実や、教育的な課題解決を図ります。(②)
- 学校給食のあり方について、検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を定めます。(③)
- 教員の専門性や指導力を高めるとともに、多様化する教育課題などに対応するため、効果的な研修体制や支援体制を整えます。(④ ⑤)
- 教職員の自主性と質の向上及び各校の特色ある学校運営等を実践するための補助を行います。(⑤)
- ネイティブ(※62)な英語に慣れ親しむとともに、コミュニケーション能力の向上に向けて、外国人英語指導講師による教育支援を充実し、英語教育を推進します。(⑥)
- 各学校・地域の特色を活かして、小中一貫教育や海老名型コミュニティ・スクール(※63)を推進します。(⑦)
- 補助指導員(※64)等、専門性の高い職員を派遣し、一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。(⑧ ⑪)
- 学校に心理の専門家等を派遣し、教育相談体制の充実を図ります。(⑧)
- 子どもの学習支援を通じて、高校等の進学や社会的自立を促し、将来の貧困連鎖からの脱却を目指します。(⑧)
- 指定管理者と協力し、市立図書館の管理運営を進化させます。(⑩)
- 多くの市民の意見を聞いて、「まな BINA」(※65)の講座の充実・向上を図ります。(⑫)
- ニーズに応じた学童保育の確保や安定的な運営のための支援を図ります。(⑬)
- 教育委員会会議や総合教育会議などの資料・議事録等をホームページに適宜公開し、市民に開かれた教育委員会にします。さらに、首長との連携強化による円滑かつ柔軟な教育行政を推進します。(⑭)
- 相模国分寺跡を中心に整備・活用を進めます。(⑮)
- 温故館の展示や情報発信の取り組みを継続するとともに、電子化による歴史資料や文化財の公開を進めます。(⑯)

市民の声



- 小中一貫、小中統廃合、英語教育など推進してほしい。
- 高齢者と小学生などの交流、世代間のコミュニケーションの場づくりを進めてほしい。
- 理想の教育の実践に向け、考え方を教えた方が良い。
- 学童保育の充実を図ってほしい。
- 公立中学校給食の充実を図ってほしい。
- 生涯学習の講習会や教室など考え増やしてほしい。
- 文化財の公開を継続してほしい。

※ 61 どの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準

※ 62 ネイティブ・スピーカー(母語話者)のこと。土地の人及びある言語を母語とする人のこと。

※ 63 地域住民が参画する学校運営協議会制度

※ 64 小中学校で通常学級に在籍する児童生徒への個別指導等を行う海老名市の非常勤職員

※ 65 海老名市教育委員会において、社会教育の視点から市民の交流の場、学びの場として行っている講座

1 市民生活

2 健康・福祉

3 経済・環境

4 まちづくり

5 教育

6 消防・防災

7 行財政運営

8 モーショントラック



(3) 海老名市教育大綱

ア 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により策定した、海老名市の教育、学術及び文化芸術に関する総合的な施策の大綱です。

イ 計画期間

4年間（第3期 令和5年度から令和8年度まで）

ウ 所管課

教育総務課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

新たな学校の枠組みづくりの推進

- 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討
- 学校のDX化の促進
- 「幼保小の架け橋プログラム」の実践
- 新たな部活動の在り方への移行

教育施策の5つの柱

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- こどもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせ」のために

「誰ひとり取り残さない教育」をめざします

「えびなっこしあわせプラン」の推進

- 授業改善の実践
- 教育支援体制の充実
- みんなで取組む学校づくりの推進

こどもと大人がともに学ぶ機会の充実

- こども・学校支援事業の実践
- 若者の活躍と市民活動への参加促進
- 社会教育計画の再構築
- 特色ある図書館運営の推進
- 文化財の保護と積極的な活用

新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- 積極的な学校再編計画の推進
- 健康・安全安心のための環境整備
- 魅力ある学校給食の実現
- 保護者負担経費軽減策の充実
- 放課後児童クラブの充実

包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

- フルインクルーシブ教育の推進
- 不登校支援体制の充実
- スクールライフサポートの充実
- ライフ・スタディサポートの推進

海老名市教育大綱

目標

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

基本的な考え方

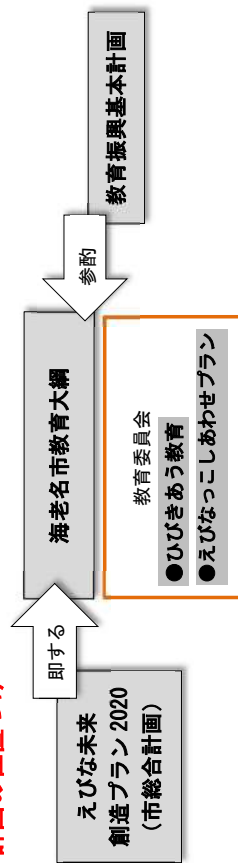
わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- こどもたちひとりひとりの
- 家庭・学校・地域の「しあわせをめざします

計画期間

4年間（令和5年4月から令和9年3月まで）

計画の位置づけ



教育施策の5つの柱

- 1 新たな学校の枠組みづくりの推進
- 2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進
- 3 「えびなっこしあわせプラン」の推進
- 4 こどもと大人がともに学ぶ機会の充実
- 5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

家庭・学校・地域・行政の力を結集

家庭・学校・地域・行政の力を結集

事業概要

1 新たな学校の枠組みづくりの推進

① 学校経営の在り方と主体的な予算編成の検討 …【教育支援課】

学校教育目標を軸に、地域に根差した特色ある学校づくりを目指し、海老名のこどもの豊かな「学び」と「育ち」を保障するために、各校の校長の裁量権を拡大し、効果的な学校予算編成を行うとともに、持続可能な枠組みの在り方を研究します。

② 学校のD・X化の促進 …【就学支援課・教育支援課】

校務のIT化をさらに進めるとともに、こどもひとりひとりに合った教育や指導を行うために、学校教育活動のあらゆる場面で1人1台端末の活用を進めます。授業ではデジタル教材やMEXBTを使い、個人に合わせた学習や協働的な学びに活用します。また、保護者へのメールサービス「SumaMachi」を活用し、学校の様々な連絡事項や不審者情報などを即時提供します。

③ 「幼保小の架け橋プログラム」の実践 …【教育支援課】

小学校、幼稚園、保育園等が連携し、架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）のひとりひとりの多様性に配慮した上で全てのこどもにも学びや生活の基礎を育むことを目指し、スタートカリキュラムを全小学校で研究・推進していきます。

④ 新たな部活動の在り方への移行 …【教育支援課】

持続可能な部活動のあり方と生徒の部活動の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、各団体・保護者・民間事業者等の協力のもと、学校と地域が協働・融合した形での地域における部活動環境整備を進めます。

2 包摂性の高い教育的・社会的支援の推進

① フルインクルーシブ教育の推進 …【教育支援課】

個別の教育支援計画の作成等を通じた教育的ニーズの適切な把握をもとに、すべてのこどもたちひとりひとりの多様性に対応した、学びやすい環境、わかりやすい授業、安全で安心できる居場所を目指します。

② 不登校支援体制の充実 …【教育支援課】

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用推進や、校内別室支援体制の充実等による不登校の未然防止を図ります。また、不登校のこどもたちが安心して過ごすことができる多様な学びの場の拡充を官民協働で進めていきます。

③ スクールライフサポートの充実 …【就学支援課】

経済的な理由で就学困難な家庭に対し、学用品費や給食費、校外活動費、修学旅行費など、学校生活に必要な費用の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

④ ライフ・スタディサポートの推進 …【学び支援課】

生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習支援や生活支援、進学に関する支援を実施することで、こどもの高等学校等への進学や社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止します。

※包摂性の高い教育とは…こどもたちひとりひとりが、その個性や能力に応じた教育を受ける機会を与えられていること。

3 「えびなっこしあわせプラン」の推進

① 授業改善の実践 …【教育支援課】

「主体的・対話的で深い学び」を追求するために、市内教員がその視点からの学習過程を見直し、小中接続の観点からも、ともに授業を工夫・改善していく取組を推進します。また、個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、1人1台端末の各教科等の指導における効果的な活用方法等について研究します。

② 教育支援体制の充実 …【教育支援課】

すべてのこどもを対象とした教育支援体制の構築についての研究・協議を進めてまいります。また、個別的教育支援計画シートの有効活用、不登校のこどもたちへの多様な学習支援、いじめ問題への具体的な対応策の拡充等について研究してまいります。

③ みんなで取組む学校づくりの推進 …【教育支援課】

「特色ある教育活動」実践に向けたカリキュラムマネジメントを展開できるようにするため、「教育課程編成」「地域との連携協働」等について研究し、具体的な取組みにつなげてまいります。

4 こどもと大人がともに学ぶ機会の充実

① こども・学校支援事業の実践 …【学び支援課】

えびなっ子スクールやあそびっ子クラブ等の実施を通して、学校と地域の連携を図り、地域ぐるみでこどもたちのしあわせを育みます。また、学校応援団が地域の力を引き出すことで、こどもたちと地域が共に成長できる社会を目指します。

② 若者の活躍と市民活動への参加促進 …【学び支援課】

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンバーとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

③ 社会教育計画の再構築 …【学び支援課】

社会教育関係団体の連携や地域での社会教育活動の充実、学習機会の充実を図ることにより、地域の大人がこどもたちへの関わりを通してより強いつながりをもち、こどもと大人がともに育つ社会の構築を目指します。

④ 特色ある図書館運営の推進 …【学び支援課】

中央図書館は「新しい学びが見つかる空間」として、有馬図書館及び門沢図書館コミュニティセンターは「学びとコミュニティの空間」として、それぞれの立地条件や地域の特性を生かした運営を行うことで、様々な人々が集う知の拠点を目指します。

⑤ 文化財の保護と積極的な活用 …【教育総務課】

市内に存する文化財のうち重要なものについて、市指定重要文化財や市登録文化財として保存を進め、次世代に引き継ぎます。また、国史跡相模国分寺跡・尼寺跡の公有地化を行い、保存活用を進めます。歴史資料等のデジタル化や「相模国分寺跡あそびのひろば」の開催など、積極的に文化財を活用し、市内外に海老名の歴史文化財を伝えます。

5 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

① 積極的な学校再編計画の推進 …【教育総務課】

「持続可能」でこどもたちにとって「夢」のある学校の実現に向けた施設整備を進めるため、児童生徒の人口推計を的確にとらえながら、新築、統合及び一貫化を含めた積極的な学校再編の方向性を、海老名市学校施設再整備計画の見直しにあわせて、再整備計画に反映します。

② 健康・安全安心のための環境整備 …【教育総務課・就学支援課】

老朽化した樹木の伐採及び剪定、校舎及び屋内運動場のLED化、庁内他課との連携による健康管理データの活用、青色パトロール車による巡回パトロール等を通して、こどもがいきいきと学べる学習環境・のびのびと生活できる生活環境を整備します。

③ 魅力ある学校給食の実現 …【就学支援課】

学校給食献立コンテストの優秀作品の献立化等、こどもたちが食べたいと思う、魅力的かつ安全安心な給食の提供に努め、海老名のこどもたちひとりひとりの「おいしい笑顔」の実現を目指します。

④ 保護者負担経費軽減策の充実 …【就学支援課、教育支援課】

使用頻度の低い彫刻刀や柔道着の購入費や小中学校全学年の教材費の公費負担、中学校ジャージのコンベンション等を行うなど、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」に基づく、保護者負担経費の更なる適正化を図ります。

⑤ 放課後児童クラブの充実 …【学び支援課】

児童育クラブの「質」及び「定員」の充実を図ること、こどもたちに安全に放課後を過ごすことができる場を提供し、保護者が安心してこどもをあずけることができる環境を整備します。



(4) えびなっこしあわせプラン

ア 概要

海老名のこどもたちが、今、学校で生き生きと学習・生活するために、将来、自己実現を果たし、社会の一員として「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・学校・地域・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

なお、第4期では、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のこども一人ひとりの学びと生活を保障します。

イ 計画期間

3年間（第4期 令和6年度から令和8年度まで）

ウ 所管課

教育支援課

エ 内容

次ページ以降に掲載しています。

えびなっこしあわせプラン推進委員会

第4期『えびなっこしあわせプラン』全体の検討・協議を実施します。

《 構成メンバー 》

校長代表2名 総括教諭・教諭4名 保護者代表1名

《 スーパーバイザー 》

小林 宏己 先生 ※第1期から助言を頂いています

その他、今日的な課題の対応へ

『海老名市立学校における保護者負担経費のあり方検討委員会』、

『外国語教育推進協議会』、『学校 ICT 活用推進委員会』、

『架け橋プログラム推進委員会』、『部活動推進協議会』、

『海老名市フルインクルーシブ教育推進委員会』を設置。

「えびなっこ しあわせプラン」 の歩み

第1期の取組から、次の3点を重点として
取り組みました。

- ①授業改善
- ②新たな教育課程の編成
- ③IT・貢献賞、コミュニティ・スクールの推進

第2期
(H30～R2 年度)

6点の重点項目に取り組みました。

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成
- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

第1期
(H26～29 年度)

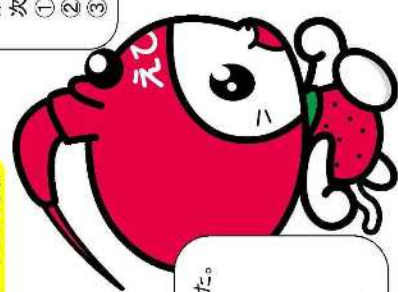
第3期
(R3～R5 年度)

キーワードは、『多様性』。
第1期、第2期の取組を継続し、
次の3点を重点に取り組みました。

- ①授業改善の実践
- ②教育改善の実践
- ③特色ある学校づくりの推進

第4期
(R6～R8 年度)

キーワードは、『包摂性』。
今までの取組を継続しつつ、第4期では
「①授業改善の実践」
「②教育支援体制の充実」
「③みんなで取り組む学校づくりの推進」
を重点に取り組みます。



えびなっこの今と将来の
しあわせのために
みんなで歩みます

第4期

『えびなっこしあわせプラン』

海老名市教育委員会 教育ビジョン



「えびなっこしあわせプラン」は、海老名のこどもたちひとりひとりが、今と将来にわたって、自己実現を果たし、社会の一員として自分の力を発揮して、「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・地域・学校・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

平成26年度から取組をはじめ、今回で、第4期目となり、令和6年度から令和8年度の3年間の取組となります。

「第4期えびなっこしあわせプラン」では、

◇授業改善の実践

◇教育支援体制の充実

◇みんなで取り組む学校づくりの推進

を3本の柱として、重点的に取り組みます。

そして、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のすべてのこどもひとりひとりの学びと生活を保障します。

『誰ひとり取り残さない教育』の

実現をめざします。

◎「えびなっこ支援シート」の活用及び支援の充実
○学びの保障のために、「支援計画」を作成し、生活・学習支援を実施します

- ◎学校の包摂性を高めるための支援環境の整備と支援活動を充実します
- 人員の確保とスペースの整備
- 支援学校、教育関連機関、民間団体等との連携推進
- ◎学校支援チームの再構築を実施します

えびなこ支援シートの活用

このシートは、市のHPで見る事ができます。

◎『主体的・対話的で深い学び』を追求します
○「よりよい授業づくり」学校訪問・公開授業
研究>の実施

- ◎◎子どもたちが**主体的に学習に取り組む**ために、よ
りよい学習計画の在り方についての研究に取り組
みます
- ◎◎「**協働的な学び**」の実践を重点として、授業改善
の研究に取り組むとともに、「**個別最適な学び**」
の実践も積み重ねます
- ◎◎**教職員が主体的に学ぶ研修**の場の充実を図ります



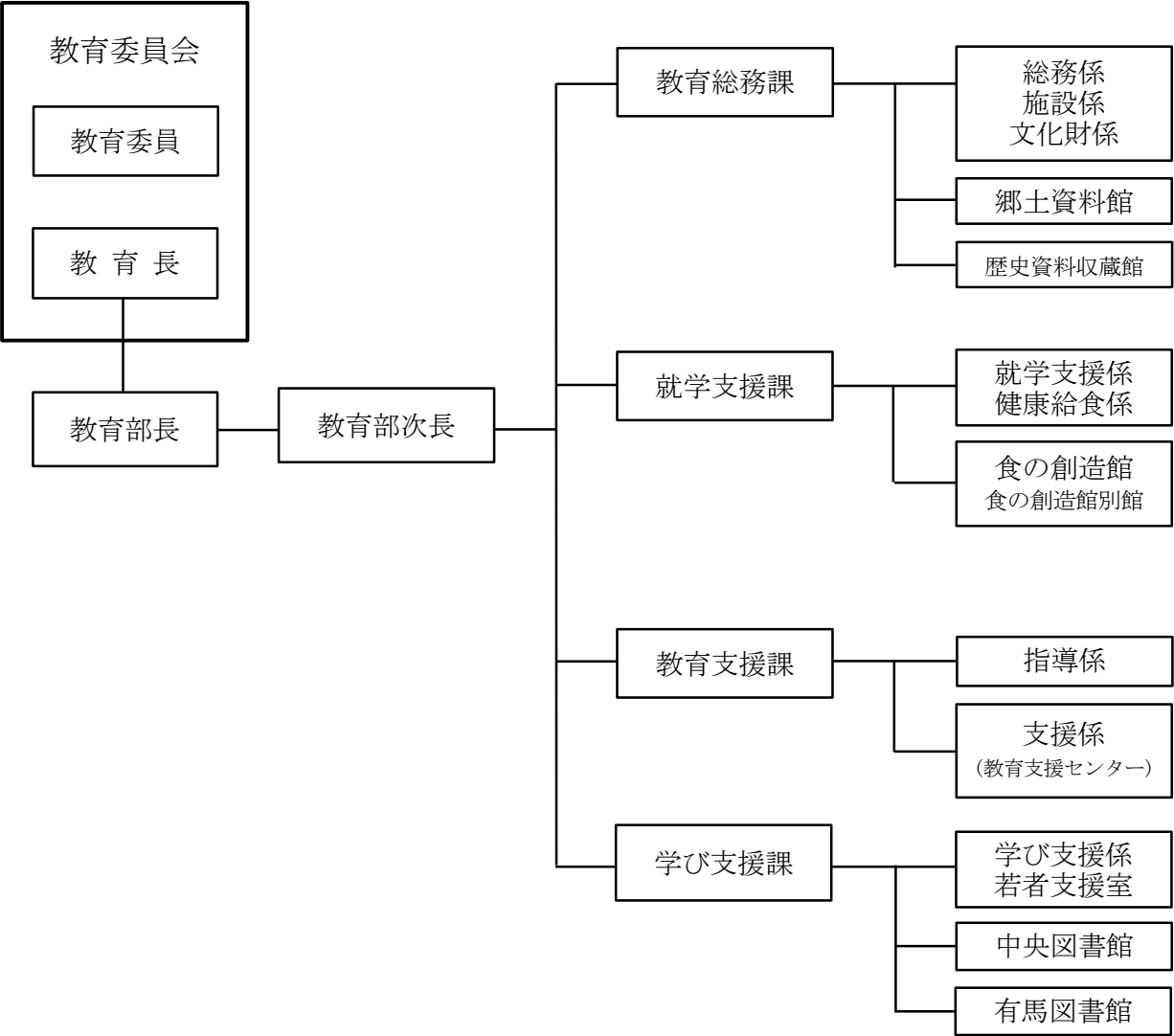
学校づくりの推進

- ◎各校の「みんなで取り組む学校づくり」の実践
- こども、教職員、保護者、地域、市民と連携・協働した学校運営
- ◎コミュニティ・スクールの推進
- 学校運営協議会の充実
- ◎学校予算の主体的な執行のための見直し・改善
- 学校予算の運用における協議・研究・改善

23

4 組織図

(令和7年4月1日時点)



小学校（13校）	
1	海老名小学校
2	柏ヶ谷小学校
3	有鹿小学校
4	有馬小学校
5	大谷小学校
6	上星小学校
7	中新田小学校
8	門沢橋小学校
9	東柏ヶ谷小学校
10	社家小学校
11	杉久保小学校
12	今泉小学校
13	杉本小学校

中学校（6校）	
1	海老名中学校
2	有馬中学校
3	海西中学校
4	柏ヶ谷中学校
5	大谷中学校
6	今泉中学校

5 事務分掌

(令和7年4月1日時点)

教育総務課	総務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会の会議に関すること。 (2) 儀式、表彰及び渉外に関すること。 (3) 教育行政の企画調整及び相談に関すること。 (4) 規則等の公布に関すること。 (5) 事務局、学校その他の教育機関の職員(教職員を除く。)の人事に関すること。 (6) 公印の管理に関すること。 (7) 部の庶務及び調整に関すること。 (8) 部内の事務分掌の調整に関すること。 (9) 教育大綱の策定及び総合教育会議に関すること。
	施設係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育施設の設置に関すること。 (2) 教育財産の管理に関すること。 (3) 学校施設の開放事業に関すること。
	文化財係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財の保存及び活用に関すること。 (2) 史跡地の整備及び管理に関すること。 (3) 郷土資料館に関すること。 (4) 郷土芸能及び郷土資料に関すること。 (5) 市史編さんに関すること。 (6) 市史資料の調査及び収集に関すること。 (7) 歴史資料収蔵館に関すること。
就学支援課	就学支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教職員の任免その他人事に関すること。 (2) 教職員の栄典に関すること。 (3) 児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 (4) 学校の組織編成に関すること。 (5) 児童生徒及び教職員の安全管理に関すること。 (6) 就学援助に関すること。 (7) 教職員の健康管理及び福利厚生に関すること。 (8) 小中学校との連絡に関すること。 (9) 奨学金に関すること。
	健康給食係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒の健康管理に関すること。 (2) 学校給食の運営、管理に関すること。 (3) 食の創造館に関すること。 (4) 学校給食費の賦課及び徴収、収納管理、督促等に関すること。 (5) 保健・安全・食育の指導に関すること。

教育支援課	指導係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等の指導助言に関すること。 (2) 教科用図書その他教材及び教具の指導に関する事。 (3) 教育資料の整備及び活用に関すること。 (4) 教職員の研修に関すること。 (5) 人権教育に関すること。 (6) 学校ICTの指導に関すること。 (7) 教育の調査、研究に関すること。 (8) 学校運営協議会に関すること。 (9) その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。
	支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒指導に関すること。 (2) 特別支援教育に関すること。 (3) 教育支援センターに関すること。
学び支援課	学び支援係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 社会教育委員の会議に関すること。 (2) 社会教育に関すること。 (3) 社会教育関係団体(体育関係を除く。)の指導助言に関すること。 (4) 放課後児童健全育成に関すること。 (5) 図書館に関すること。 (6) 生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援に関すること。
	若者支援室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 若者相談に関すること。 (2) 社会教育講座に関すること。 (3) 成人式に関すること。

6 職員数

(令和7年4月1日現在)

		教育部			
		教育総務課	就学支援課	教育支援課	学び支援課
教 育 長	1				
部 長	1				
担当部長	1				
次 長	1				
担当次長	(1)				
参 事	5				
課 長	-	(1)	(1)	(1)	(1)
担当課長・所長	-	(1)		(1)	
主 幹	-		3	6	1
係長・室長	-	2(1)	1(1)	1(1)	1(1)
副 主 幹	-	1	2<1>	5	1
主 査	-	1	1		2
主任主事	-	3<1>	2	1	
主 事	-	3	2		1
主 事 補	-	3	1		2
指導主事	-		(2)	(9)	(1)
社会教育主事	-				(1)
用務員(正職・再任用)	-	5<3>			
管理栄養士			1		
会計年度任用職員		36	81	242	12

※()内は兼務者、< >内は再任用職員で、いずれも内数

※会計年度任用職員の区分は以下のとおり（学校配置含）

一般事務員、事務専門員（一）、用務員、社会教育指導員、栄養士、業務員（通学路巡回パトロール員、学校安全監視員、通学路立哨員）、非常勤講師、部活動指導員、教育専門指導員、教育支援センター指導員、教育支援センター主任指導員、教育支援センター専門補導員、教育支援センター相談員、教育支援センター主任相談員、言語聴覚士、補助指導員、介助員、看護介助員、日本語指導学級講師、社会教育支援指導員



第2章 教育財政

1 教育費の推移

(1) 一般会計と教育費の推移

年度	当初予算額			決算額			
	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)	一般会計 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
R 4	46,180,000	4,607,007	9.98	52,341,647	5,316,182	10.16	△2.65
R 5	48,567,000	6,208,649	12.78	56,521,977	7,093,892	12.55	33.44
R 6	50,891,000	5,580,721	10.97	55,628,034	6,164,269	11.08	△13.10
R 7	59,329,000	6,160,181	10.38	—	—	—	—

※決算額は支出済額を抽出

単位未満は四捨五入

増減率は前年度教育費との比較

(2) 項別歳出決算額の推移

項	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	2,490,838	46.85	2,490,838	46.85	2,653,372	43.04
小学校費	652,045	12.27	652,045	12.27	1,147,069	18.61
中学校費	341,794	6.43	341,794	6.43	456,458	7.40
社会教育費	1,139,836	21.44	1,139,836	21.44	1,305,702	21.18
保健体育費	691,669	13.01	691,669	13.01	601,668	9.76
合 計	5,316,182	100.00	5,316,182	100.00	6,164,269	100.00

※決算額は支出済額を抽出

単位未満は四捨五入

構成比の合計が100%にならない場合があります

2 令和7年度歳出当初予算（項目別）

項目	令和7年度		令和6年度		増減額 (千円)	増減率 (%)
	予算額 (千円)	構成比 (%)	予算額 (千円)	構成比 (%)		
1 教育総務費	2,949,679	47.88	2,635,029	47.22	314,650	11.94
1 教育委員会費	6,293	0.10	6,459	0.12	△166	△2.57
2 事務局費	1,440,924	23.39	1,165,329	20.88	275,595	23.65
3 学校給食費	1,423,696	23.11	1,399,293	25.07	24,403	1.74
4 教育支援センター費	78,766	1.28	63,948	1.15	14,818	23.17
2 小学校費	754,944	12.26	710,404	12.73	44,540	6.27
1 学校管理費	558,119	9.06	528,659	9.47	29,460	5.57
2 教育振興費	196,825	3.20	181,745	3.26	15,080	8.30
3 中学校費	449,280	7.29	396,025	7.10	53,255	13.45
1 学校管理費	336,095	5.46	286,745	5.14	49,350	17.21
2 教育振興費	113,185	1.84	109,280	1.96	3,905	3.57
4 社会教育費	1,453,820	23.60	1,282,588	22.98	171,232	13.35
1 社会教育総務費	923,038	14.98	803,963	14.41	119,075	14.81
2 文化財保護費	51,620	0.84	42,061	0.75	9,559	22.73
3 図書館費	479,162	7.78	436,564	7.82	42,598	9.76
5 保健体育費	552,458	8.97	556,675	9.97	△4,217	△0.76
1 保健体育総務費	107,537	1.75	107,378	1.92	159	0.15
2 体育施設費	444,921	7.22	449,297	8.05	△4,376	△0.97
教育費 計	6,160,181	100.00	5,580,721	100.00	579,460	10.38

※単位未満は四捨五入

構成比の合計が100%にならない場合があります



第3章 学校教育

1 学校施設

(1) 学校施設一覧

(令和7年4月1日時点)

ア 小学校13校

学校名	住 所	電 話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南3-12-3	231-2019 231-3564	17,484	6,371	127	6,498	710		710
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷2-6-1	231-1630 231-1715	14,360	4,764	186	4,950		803	803
あるか 有 鹿	〒243-0433 河原口3-13-1	231-2159 231-2147	13,121	3,305	1,419	4,724		716	716
ありま 有 馬	〒243-0416 中河内1784	238-2010 238-1733	15,016	4,220	182	4,402	944		944
おおや 大 谷	〒243-0413 国分寺台 2-13-1	231-7370 231-2130	16,436	5,296	166	5,462		720	720
じょうせい 上 星	〒243-0431 上今泉1-23-1	232-3755 232-3277	23,163	5,250	510	5,760		739	739
なかしんでん 中新田	〒243-0422 中新田1-15-1	231-1452 231-3008	22,377	4,425	197	4,622		739	739
かどさわばし 門沢橋	〒243-0426 門沢橋1-19-1	238-0810 238-0335	15,738	3,799	192	3,991		739	739
ひがしかしわがや 東柏ヶ谷	〒243-0401 東柏ヶ谷 6-9-7	232-3716 232-3706	10,136	5,684	35	5,719	636		636
しゃけ 社 家	〒243-0424 社家5-10-1	238-1453 238-5247	16,839	3,637	233	3,870		700	700
すぎくぼ 杉久保	〒243-0410 杉久保北 4-4-1	238-4508 238-4512	26,931	5,370	125	5,495		733	733
いまいずみ 今 泉	〒243-0431 上今泉2028	232-2295 232-2256	21,820	6,210	2,925	9,135		739	739
すぎもと 杉 本	〒243-0406 国分北4-10-1	233-6451 233-6452	14,847	4,543	95	4,638		738	738

※学校プールは平成23年度に廃止しました。

※鉄筋…R C造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

イ 中学校 6 校

学校名	住 所	電 話 F A X (046)	校地 面積 (㎡)	建 物 (㎡)					
				校 舎			屋内運動場		
				構造		計	構造		計
				鉄筋	鉄骨		鉄筋	鉄骨	
えびな 海老名	〒243-0405 国分南3-11-1	231-3410 231-7989	20,608	6,871	124	6,995		1,137	1,137
ありま 有馬	〒243-0417 本郷4601	238-3365 238-3469	19,381	6,132	195	6,327	943	15	958
かいせい 海西	〒243-0421 さつき町58	232-8103 232-2293	21,735	5,218	542	5,760		823	823
かしわがや 柏ヶ谷	〒243-0402 柏ヶ谷1-13-1	233-0917 233-0947	20,240	6,454	50	6,504		826	826
おおや 大谷	〒243-0418 大谷南2-10-1	233-3233 233-3583	21,575	5,691	119	5,810		818	818
いまいずみ 今泉	〒243-0431 上今泉1840	233-6341 233-6142	25,366	5,390	163	5,553		1,101	1,101

※学校プールは平成23年度に廃止しました。

※鉄筋…R C造。主に校舎本体 鉄骨…S造。主に渡り廊下や倉庫等

(2) 令和6年度に実施した主な学校施設工事

児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備や改修工事を実施しています。令和6年度に実施した主な工事は次のとおりです。

ア 大谷小学校屋内運動場大規模改修工事

大谷小学校の屋内運動場に熱中症予防の観点から空調設備の設置及び断熱性能向上を図る改修工事を実施し、児童の教育環境の向上及び建物の健全化を図りました。

イ 中新田小学校校舎外装改修工事

安全性を向上させるための外壁の落下対策及び雨漏れ等解消を図るため、外壁と屋上防水を改修しました。

ウ 自動火災報知設備改修事業

有事の際でも児童及び生徒が安全に避難できるよう小学校5校（大谷小学校、上星小学校、門沢橋小学校、杉久保小学校、杉本小学校）及び中学校3校（海西中学校、大谷中学校、今泉中学校）の自動火災報知設備を改修し、予防保全を図りました。

2 児童生徒数・学級数

令和7年5月1日現在

学校名	学級数	児童数・生徒数（人）		
		総 数	男	女
海老名 小学校	32	796	430	366
柏ヶ谷 小学校	15	351	183	168
有 鹿 小学校	20	440	226	214
有 馬 小学校	14	277	146	131
大 谷 小学校	24	603	316	287
上 星 小学校	28	725	380	345
中新田 小学校	20	497	249	248
門沢橋 小学校	21	456	240	216
東柏ヶ谷小学校	16	393	191	202
社 家 小学校	17	450	230	220
杉久保 小学校	23	523	264	259
今 泉 小学校	41	1,136	575	561
杉 本 小学校	21	496	273	223
小学校計	292	7,143	3,703	3,440
海老名 中学校	17	499	267	232
有 馬 中学校	21	602	299	303
海 西 中学校	16	463	252	211
柏ヶ谷 中学校	19	600	293	307
大 谷 中学校	18	548	281	267
今 泉 中学校	21	653	344	309
中学校計	112	3,365	1,736	1,629
合 計	404	10,508	5,439	5,069

3 学校教育の方針

(令和7年4月1日時点)

(1) 教育理念「ひびきあう教育」

海老名市の21世紀の教育理念として、平成12年に策定しました。

学習指導要領(平成20年3月)による「『生きる力』を育む教育」に相当します。

①子どもと大人がひびきあう

学校生活・日常生活の中で子ども同士、子どもと大、大人同士が「かかわり」を持ちふれあえるような場や環境を創り出していく。

②子どもと教師がひびきあう

- ・子どもたちの学習活動の中に人やものや自然とのかかわりが持てる活動を取り入れていく。
- ・知識や情報を交互に交換し合う場を積極的に取り入れていく。
- ・自分の考えを伝え、さらには新たな課題を仲間と共有する場を作っていく。

③学校・家庭・地域がひびきあう

保護者や地域の方々にも積極的に学校教育にかかわることを呼びかけ、共に学び育ちあう関係を築いていく。

④郷土とひびきあう

子どもたちが地域を理解し、子どもなりに地域に愛着を抱くように学習活動に地域の教材を取り入れ、地域の施設や地域の方々の協力を得て地域を身近に感じられるようにしていく。

(2) 教育施策「えびなっこしあわせプラン」

ア 前身

- (ア) 第1期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成22年～24年)
- (イ) 第2期「学び合い・思いやり・元気なえびなっ子プラン」
(平成25年～26年)

イ 第1期「えびなっ子しあわせプラン」(平成27年度～29年度)

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」のもと、子どもたちが学校で生き生きと学習・生活するとともに、将来、自己実現を果たして、社会の一員として「しあわせ」に生きるために必要な力を、義務教育期間の9年間で確実に身につけることをねらいとして、「えびなっ子しあわせプラン」を策定しました。

当プランは、子どもたちに必要な力を「学力」「集団力」「健康安全力」とし、それを身につけるための方策とともに、今後の海老名市立学校の在り方を「小中一貫教育」「海老名型コミュニティ・スクール」とし、その実現に向けて取り組む3年間の教育計画です。

また、このプランは、海老名市教育大綱～「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名～の3つの施策のうちのひとつであり、家庭・学校・地域・行政の力を結集して、子どもたちの今と将来の「しあわせ」のために取り組むものです。

(ア) 身につける3つの力

- ・「学力」の向上 … 「授業改善の手引き作成委員会」の設置
- ・「集団力」の育成 … 「いのちを守るための学習計画作成委員会」の設置
- ・「健康安全力」の育成… 「人間関係づくり学習計画作成委員会」の設置

(イ) これからの学校の姿

- ・教育課程の検討
- ・「小中一貫教育」の推進… 「小中一貫教育準備委員会」の設置
- ・「海老名型コミュニティ・スクール」の導入

ウ 第2期「えびなっ子しあわせプラン」(平成30年度～令和2年度)

えびなっ子の今と将来のしあわせのために、義務教育9年間で確実に「学力」「集団力」「健康安全力」を身につけることをめざします。

(ア) 授業改善

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】」の実施

(イ) 新たな教育課程の編成

- ・「教育課程編成研究会」の設置

(ウ) 小中一貫教育 コミュニティ・スクールの推進

- ・「新たな学校体制づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「外国語教育推進協議会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置
- ・「部活動推進協議会」の設置

エ 第3期「えびなっ子しあわせプラン」(令和3年度～5年度)

海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障するべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行います。

(ア) 授業改善の実践

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置

(イ) 教育支援体制の充実

- ・「教育支援体制づくり検討委員会」の設置
- ・「不登校支援団体連絡会」の設置

(ウ) 特色ある学校づくりの推進

- ・「特色ある学校づくり推進委員会」の設置

(エ) その他

- ・「部活動推進協議会」の設置

オ 第4期「えびなっこしあわせプラン」(令和6年度～8年度)

令和5年4月策定の「海老名市教育大綱」に示された『誰ひとり取り残さない教育』の実現を目指し、「包摂性」をキーワードに、これまでの学校教育活動や学校の在り方、教育行政の取組を見直し、その改善を図り、海老名のこども一人ひとりの学びと生活を保障します。次の3つを3本の柱として、重点的に取り組みます。

(ア) 授業改善の実践

- ・「授業改善実践推進委員会」の設置
- ・「学校ICT活用推進委員会」の設置

(イ) 教育支援体制の充実

- ・「教育支援体制づくり検討委員会」の設置
- ・「海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会」の設置

(ウ) みんなで取り組む学校づくりの推進



- ・「みんなで行く学校づくり推進委員会」の設置

4 学校紹介

(令和7年4月1日時点)

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
1	海老名小学校		M42. 11. 1	檀浦 かおり	楠 祐子	40
2	柏ヶ谷小学校		S39. 4. 1	石井 友紀	高橋 一子	27
3	有鹿小学校		S31. 2. 11	姫野 珠実	土谷 政巳	24
4	有馬小学校		M25. 5. 5	住田 晶子	内山 大輔	22
5	大谷小学校		S44. 4. 1	島仲 京子	岩上 克成	30
6	上星小学校		S47. 4. 1	和田 波代	三村 早織	38
7	中新田小学校		S47. 4. 1	打野 公一	宮臺 理恵	28

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
明るく、素直に、礼儀正しく	<p>明るく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心身 ・自分の思いを豊かに表現する <p>素直に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさ、喜びを実感できる ・相手を想って話を聴く <p>礼儀正しく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶 ・思いやりと感謝の気持ちを持つ
<p>健康でたくましい子</p> <p>豊かな心、思いやりのある子</p> <p>よく考え、学び合う子</p>	<p>「みんな柏っ子」</p> <p>か かしく し しなやかに わ わたしらしく が がっこうだいすき や やさしくえがおで</p>
<p>未来を拓く</p> <p>心豊かなたくましい有馬の子</p> <p>～人と人との絆のなかで、共に学び合う小 中9年間～</p>	<p>多様な考えを受けとめ 自らの学びに生かせる子</p> <p>心身共に健康で根気強く 一生懸命取り組む子</p> <p>自分も相手も大切に し あたたく関わりあう子</p>
<p>夢をもって未来を切り拓く</p> <p>調和のとれた子どもを育てる</p>	<p>主体的に考え学びあう有馬の子</p> <p>心豊かで思いやりのある有馬の子</p> <p>健康でたくましい有馬の子</p>
<p>自立・夢を拓く人</p> <p>～豊かな心 深める学び 健やかな体 社 会とのふれあい～</p>	<p>「追及する子」</p> <p>生きて働く「知識・技能」を身につけ、失敗を恐れず挑戦する子</p> <p>「創造する子」</p> <p>思いや考えをもとに構想し、意味や価値を創り出す子</p> <p>「協働する子」</p> <p>人・もの・ことに関わり共に学ぶ子</p>
<p>確かな知恵と豊かな心そして丈夫な体を持 ち、たくましく生きる子どもを育てる</p>	<p>よく考え工夫する上星の子</p> <p>思いやりをもつ上星の子</p> <p>健康でたくましい上星の子</p>
<p>未来を拓く、心豊かな、たくましい中小の 子</p> <p>～人と人との絆のなかで、共に学び合う9 年間～</p>	<p>○未来を拓く子</p> <p>「自ら学び、主体的に行動する子」</p> <p>○心豊かな子</p> <p>「他の人も自分も大切にしながら関わる子」</p> <p>○たくましい子</p> <p>「心身共に健やかに、粘り強く取り組む子」</p>

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
8	門沢橋小学校		S48. 4. 1	境 景子	中村 昌善	25
9	東柏ヶ谷小学校		S50. 4. 1	奥田 五成	町田 誠祐	22
10	社家小学校		M25. 5. 5	浅井 大輔	尾崎 由美	21
11	杉久保小学校		S54. 4. 1	坂野 千幸	坂田 美帆	28
12	今泉小学校		S56. 4. 1	和田 修二	中島 忠相	48
13	杉本小学校		S57. 4. 1	奥泉 憲	前田 潤子	27

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
正しく 豊かに たくましく 誇らしく	よく学び よく考える子 思いやりがあり 仲良くする子 健康で 意欲がある たくましい子
「こころ」をひろげ、未来に生きる力を育む	学ぶ楽しさを味わい学び合う子 自他を認め、支え合う子 いきいきと活動に取り組み高め合う子
心身ともに健康で、心豊かな子の育成をめざす (1) 自ら学ぶ子 (2) 思いやりのある子 (3) 礼儀正しい子 (4) たくましい子	しんけんに考え学び合う子 やさしい心をもち助け合う子 けんこうで、ねばり強い子
自立・夢を拓く人 「豊かな心」「深める学び」 「健やかな体」「社会とのふれあい」	《今年度の重点目標》 自分で考え、自分の判断で行動できる杉の子の育成
かしこく やさしく たくましく	主体的に粘り強く学習に取り組む子 お互いを認め合いともに育つ子 心身ともにたくましく生きぬく子
よく考えて実行する杉本小の子 思いやりのある杉本小の子 健康でたくましい杉本小の子	○しっかり聞き、自分で考え判断し、行動する児童 ○相手の気持ちを考え、自分の気持ちを表現できる児童 ○自ら進んで健康で安全な生活をしようとする児童 ○あきらめしないで粘り強く取り組む児童

	学校名	校章	創立	校長	教頭	教職員(本務者)数 (4月1日時点)
14	海老名中学校		S22. 5. 5	梶山 博考	河野 洋	25
15	有馬中学校		S22. 5. 5	久保谷 由美子	山口 篤	25
16	海西中学校		S49. 4. 1	遠藤 一義	清水 匠	28
17	柏ヶ谷中学校		S51. 4. 1	小宮 洋子	別府 裕二	27
18	大谷中学校		S55. 4. 1	小林 丈記	大矢 貴史	28
19	今泉中学校		S59. 4. 1	山川 勇	中川 木挙	29

学校教育目標	めざす児童・生徒像 等
自ら学び、考え、行動する心豊かなたくましい生徒の育成 ①豊かな心 ②深める学び ③健やかな体	≪実践の指針≫ (1)「豊かな心と思いやりの心を持つ」 (2)「秩序がある」 (3)「学力を伸ばし、深める」 (4)「健やかなからだを作る」
一人ひとりが生涯にわたって豊かな人生を送るために、自ら学び、自己の人格を磨き、仲間と関わる中で心身を高め合う学校 ーたくましく しなやかな人にー	【社会の創り手となる生徒】 1、自立…自ら考え、正しく判断し、主体的に自己実現を目指す生徒 2、自律…自ら道を創り出し、自らの責任において継続的に行動できる生徒 3、協働…より良い人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、共生…自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒
未来を拓く、心豊かなたくましい海西の子の育成 ～ 人と人との絆の中で共に学び合う 9 年間 ～ (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体	≪実践の指針≫ (1)「豊かな心と思いやりの心を持つ」 (2)「秩序がある」 (3)「学力を伸ばし、深める」 (4)「健やかなからだを作る」
未来を生き抜く生徒の育成 ～たくましく生きる 共に生きる 豊かに生きる～	(1) 主体的に考え、よりよく生きようとする生徒 (2) 協働的に活動し、豊かな人間関係を築こうとする生徒 (3) 多様性を尊重し、ひとりひとりの存在を大切に思う生徒
< 自立・夢を拓く人 > (1) 豊かな心 (2) 深める学び (3) 健やかな体 (4) 社会とのふれあい	≪実践の指針≫ (1) 「豊かな心」 (2) 「深める学び」 (3) 「健やかな体」 (4) 「社会とのふれあい」
地域とともに生き、たくましく、しなやかに未来を拓く生徒の育成 ～自ら学ぶ 自ら働く 自ら磨く～	【社会に貢献できる人】 1、自主…自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒 2、自立(律)…自らの行動に責任を持ち、自己実現できる生徒 3、協働…よりよい人間関係を基に、協調し行動できる生徒 4、共生…自他の生命を尊重し、広い視野で行動できる生徒

5 教職員研修

(1) 研修会

市の施策や喫緊の課題に対応し、限られた機会において最大の効果が生まれるように、研修内容を工夫し実施しました。

【令和6年度 実施内容】

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
1	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりって、どうする？こうする！ 6月10日(月) えびなこどもセンター201会議室	全教職員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事	○講義 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりについて ○演習 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業づくり
2	あの教材、どう読む？ ～国語は解釈と分析で面白くなる!!～ 8月21日(水) 各勤務校等(オンライン)	全教職員 (臨任・非常勤を含む)	都留文科大学 名誉教授 鶴田 清司 氏	○講義 「『ごんぎつね』の教材分析から考える国語科の授業づくり」
3	社会科における個別最適な学び、協働的な学びとは！？教えてください！！ 7月29日(月) 今泉小学校	小学校教員 中学校社会科教員	大妻女子大学 家政学部 教授 澤井 陽介 氏	○講義 「社会科における個別最適な学び、協働的な学びについて」
4	算数・数学の学びをつなげる～図形について～ 8月21日(水) 海老名小学校	小学校教員 中学校数学科教員 等	杉久保小学校 校長 坂野 千幸	○講義・演習 「図形」 「小学校算数における指導方法」 「中学校数学における指導方法」
5	楽しい理科の授業ってどうやるの？深い学びにつながる理科指導法講座 7月25日(木) 今泉小学校	小学校教員 中学校理科教員	横浜国立大学附属 鎌倉小学校 教諭 奥平 直子	○講義・演習・協議 ・令和の理科教育について ・指導計画の作成について
6	これでバッチリ！！生活科～成長単元の考え方～ 11月5日(火) えびなこどもセンター201会議室	小学校低学年担任 生活科の指導力を高めたい方	有馬小学校 総括教諭 徳山 敬倫	○講義・演習 ・内容(9)「自分の成長」の指導について(実践事例等の紹介) ・内容(9)「自分の成長」の単元づくり 授業アイデアの共有
7	「生きる力」を育む音楽科の授業づくり ～こどもがいきいき考える音楽の時間～ 8月21日(水) 海老名小学校	音楽指導に携わる小中学校教員等	桐蔭学園小学校 研究主幹 岩井 智宏	○講義・演習 「生きる力を育む音楽科の授業」

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
8	こどもの作品が変わる！絵画指導 のポイント 7月29日(月) 今泉小学校	小学校教員 中学校美術教 員	八州学園大学 特任教授 佐々木 達行 氏	○講義・演習 「教科書を活用した図画工作科のものの見方・ 考え方を意識した指導について」
9	見るポイントがわかれば指導も変 わる！ 陸上競技指導のコツ 10月7日(月) 海老名運動公園陸上競技場	小学校教員 保健体育科教 員 陸上部顧問等	有鹿小学校 総括教諭 渡邊 亮	○実技研修 ①短距離走・走りのキホン ②リレー・バトンパスのキホン ③ハードル走・3歩のリズムのキホン ④走り幅跳び・助走のキホン
10	外国語で思いを伝えよう ～言語活動の充実～ 7月22日(月) 海老名小学校	小中学校外国 語教育担当者 外国語科教員 等	立教大学 外国語教育研究セン ター 教育講師 仲沢 淳子 氏	○講義、演習 「外国語・外国語活動における言語活動の充実 」について
11	そのテスト、みんなで見直してみ ませんか？ ～指導と評価の一体化 外国語編 ～ 9月9日(月) えびなこどもセンター301会議室	小中学校外国 語教育担当者 外国語科教員 等	英語“ワクワク” 研究所 中嶋 洋一 氏	○講義、演習 「テストの見直しによる指導と評価の一体化」 について
12	ちょっと見てみて、考えよう！ ～9年間で育む外国語の力～ ①9月4日(水) 門沢橋小学校 ②10月18日(金) 上星小学校 ③11月29日(金) 海老名小学校 ④2月7日(金) 大谷小学校	小中学校外国 語教育担当者 英 語 科 教 員 等	① 上智大学短期大学部 教授 狩野 晶子 氏 ②③④ 英語“ワクワク” 研究所 中嶋 洋一 氏 海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 佐藤 英恵	○授業公開 ○協議会 ○講義
13	これからの「道徳」の話をしよう 7月29日(月) 今泉小学校	全教職員	日本道徳教育学会 神奈川支部理事 三ツ木 純子氏	○講義 「考え、議論する道徳」 ○講義・演習 教材分析・本時の指導を考え、協議をする
14	探究ってなんだ？ ～こどもと一緒に総合でワクワク しよう～ 9月20日(金) オンライン	全教職員	国立教育政策研究所 教育課程研究センタ ー 教育課程調査官 齋藤 博伸氏	○講義 「探究的な学びを実現する総合の単元構想」

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
15	これからのフルインクルーシブ教育について考えよう 7月25日(木) 今泉小学校	小中学校教員	神奈川県教育委員会 インクルーシブ推進課 指導主事 海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 豊山 花林	○講義 「目指すフルインクルーシブ教育について」
16	一緒に学ぼう！共に語ろう！ ～特別支援学校の先生と～ 7月12日(金)から9月13日(金)(オンライン) 8月19日(月) 午後のみの1部2部制 海老名市文化会館 大ホール 小ホール	教育相談コーディネーター 特別支援学級担任 通級指導教室担当者	宇都宮大学共同教育学部助教授 斎藤 大地 氏	○講演会(50～60分) 「知的障害教育における自立活動」 ～ICTの有効活用も含めて～
17	教育セミナー 「不登校の子どもたちへの親や教師の関わり方」 10月～12月 オンライン	市民 保護者 教育関係者 全教職員	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 東 宏行 氏	○不登校に関する講義
18	Do you know スクールソーシャルワーカー？ 7月31日(水) 中新田小学校	全教職員	海老名市教育支援センター 藤田 萌子	○講義 SSWとは (仕事内容や大切にしている視点、学校との役割分担、SCとの違い、連携先 など)
19	Do you know びなるーむ？ 8月21日(水) 教育支援センター	小・中学校コーディネーター 不登校児童生徒にかかわる教職員	びなるーむ専任教員・主任指導員、指導員	○講義 びなるーむについて(びなるーむのカリキュラム、通室までの流れ等)、通室生の現状、学校との連携と今後と課題について、(専任教員・指導員の視点より)
20	ようこそ、にほんのがっこうへ ～基礎から学ぶ日本語指導～ 7月25日(木) 今泉小学校	日本語指導を必要とする児童生徒を受け持つ教員	横浜国立大学 講師 嶺肩 志江 氏	○講義・演習 「初期日本語指導の基礎・基本」
21	Google Classroomを使いこなそう ～イチから基礎を学び直そう～ 7月31日(水) 中新田小学校	GoogleClassroom初心者	有鹿小学校 総括教諭 渡邊 亮	○講義・演習 「Classroomの基礎基本」 クラスの作成、参加 ストリームの活用 課題配布、返却 など

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
22	授業実践から考える、ICT活用の幅を広げよう 2月3日(月) オンライン	全教職員 実践事例を知りたい方	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 五十嵐 光	○授業実践 (各自での実践) ○ディスカッション (オンライン)
23	幼保小でともに学ぼう ～架け橋期の教育～VOL.2 7月25日(木) 海老名市役所401会議室	管理職・コーディネーター 小学校低学年担任教員	日本生活科・総合的学習学会 顧問 吉田 豊香 氏	○講義・演習 「架け橋期の教育について」
24	園を見に行こう！ ～百聞は一見に如かず～ ①7月23日(火) 海老名市立中新田保育園 ②7月26日(金) さくらい保育園	管理職・コーディネーター 小学校教員等	①竹元 加代子 園長 ②櫻井 慶一郎 園長	○講話 「各園の保育について」
25	豆腐メンタルから鋼メンタルへ 7月29日(月) えびなこどもセンター201会議室	全教職員	海老名市教職員こころの相談担当臨床心理士 石田 多枝子 氏	○講義 「レジリエンスについて」
26	みんな！！どうしている保護者対応！？ 保護者対応の基礎基本について 8月22日(木) 有鹿小学校	全教職員	南藤沢心理相談室 カウンセラー代表責任者 ヴィヒャルト千佳子 氏	○講義 「児童生徒及び保護者対応の基礎基本について」 「傾聴の仕方、関わり方について」
27	学級づくりに役立つ？PAをとおして関係支援について考えよう 8月22日(木) 有鹿小学校	PAに興味がある方	海老名市教育委員会 学び支援課 指導主事 重岡 慎一郎	○講義・演習 PAを体験しよう ○演習 関係支援について考えよう
28	学級経営力の向上について ～自分自身を見つめる機会へ～ 7月22日(月) 海老名小学校	全教職員	横浜国立大学 教職大学院 准教授 藤原 寿幸 氏	○講義 「学級経営力の向上とは」
29	クラスの始まり「黄金の1週間」とは！？ ～新採用教職員希望研修会～ 3月26日(水) えびなこどもセンター201会議室	令和7年度新採用教職員及び希望者	初任者指導アドバイザー 野中 信行 氏 就学支援課長 教育支援課長 教育支援課 指導主事	○講義 「学級づくりのあり方」 ・教職員としての服務について ・情報セキュリティについて ・社会人としてのマナーや礼儀について

	研修名 日時・会場	対象者	講師	内容(概要)
30	中学卒業後の進学先や進路指導の 実際を知る 7月22日(月) 海老名小学校	小・中学校教 員	海老名市教育委員会 教育支援課 指導主事 日々輝学園高等学校 生徒募集推進室室長 N高等学校入学アド バイザー	○講義 「中学校の進路指導について」 ・進路先の校種や入試方法など ・不登校生徒の進路先 ・支援級生徒の進路先 「高等学校等での学校生活」 ・高等学校での支援について ・学校生活について ・学習と卒業後の進路について
31	改めて見直してみよう！部活動指 導について 10月7日(月) えびなこどもセンター201会議室	中学校部活動 顧問	学校法人五大 GODAI 安藤 美穂 氏	○講義 「部活動指導において大切なこと」
32	初任者研修会 3月26日(火) 4月1日(月) 7月22日(月) 7月26日(金) 8月28日(水) 2月18日(火)	初任者研修 対象教職員	海老名市教育委員会 伊藤 文康 教育長 初任者指導アドバイザー 野中 信行 氏 各課担当指導主事 教育専門指導員 教育支援課指導主事	○教育長講話

(2) 担当者会議

	会議名 日時・会場	対象者	内容(概要)
1	地域連携・小中一貫教育担当者会 議 ①6月14日(金) えびなこどもセンター201会議室 ②2月14日(金) えびなこどもセンター201会議室	地域連携・小中一 貫教育担当者	・「小中一貫」「コミュニティ・スクール」「地域学校協働 による9年間のカリキュラムマネジメント」等の説明 ・コミュニティ・スクールについての情報交換・協議 ・中学校区ごとに今年の取組の検討
2	外国語教育担当者会議 ①4月11日(木) えびなこどもセンター201会議室 ②2月26日(水) オンライン	外国語教育担当者	・令和6年度の外国語教育の取組について ・ALTの派遣について
3	図書館教育担当者会議 4月22日(月) オンライン	図書館教育担当者	・海老名市第四次子ども読書活動推進計画の学校での取組に ついて ・学校図書館を活用した読書活動・学習活動の充実に向けて ・図書支援員との連携について
4	健康教育担当者会議 5月9日(木) オンライン	保健担当者・養護 教諭	・学校保健の推進について ・食物アレルギー等の管理について ・「相談窓口」の活用について

5	給食・食育担当者会議 ①5月28日(火) えびなこどもセンター201会議室 ②11月13日(水) オンライン	給食担当者・食育 担当者・栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・給食・食育の推進について ・「食に関する年間指導計画」と振り返りについて ・給食事務の手続き方法等について ・給食・食育を取り巻く現状について ・給食献立について
6	防災教育担当者会議 5月10日(金) オンライン	防災教育担当者 安全教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校安全年間計画」と「危機管理マニュアル」「避難確保計画」の作成と振り返りについて ・各校の取り組みについて
7	I C T教育担当者会議 ①5月2日(木) オンライン開催 ②9月11日(水) オンライン	I C T教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の機器更新について ・海老名市I C T教育計画について ・端末持ち帰り活用について
8	情報セキュリティ担当者会議 5月16日(木) オンライン	校長 及び 情報教育(セキュ リティ)担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「情報セキュリティについて」 ・協議「自校の情報セキュリティ意識を高めるために」
9	人権教育担当者会議 5月22日(水) 動画視聴による書面開催	人権教育担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「国、県、市の方針」について 「人権教育ハンドブック」について ・説明「令和6年度人権教育研修会の参加割り当てについて」
10	国際教育担当者会議 ①5月2日(木) えびなこどもセンター201会議室 ②9月10日(火) えびなこどもセンター301会議室	国際教育担当者 及び 日本語指導講師 (希望者)	<ul style="list-style-type: none"> ○国際教育担当者の役割 ・支援に関すること ○個別の指導計画の作成のしかた ○日本語指導・宗教理解に関する講義 ○情報提供、交換
11	児童・生徒指導担当者会議 4月17日(水) えびなこどもセンター201会議室	児童・生徒指導担 当者	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒指導の重点課題について ・児童・生徒指導体制について ・ヤングケアラー・虐待について ・各中学校区情報交換
12	児童指導担当者会議 6月5日(水) 10月23日(水) 2月12日(水) 教育支援センター学習室	児童指導担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の今年度の計画について ・児童指導上に関する情報交換 ・関係機関から情報提供
13	教科書事務担当者会議 4月9日(火) 7月3日(水) 1月30日(木) 3月27日(木) えびなこどもセンター会議室	教科書給与事務担 当者	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書制度について ・教科書給与事務について
14	キャリア教育担当者会議 5月14日(火) えびなこどもセンター201会議室	キャリア教育担当 者	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の意義 ・キャリア教育について ・キャリアパスポートについて ・情報交換

(3) 連絡会

	会議名 日時・会場	対象者	内容(概要)
1	教育相談CO・SC・SSW連絡会 4月25日(木) 10月22日(火) 2月21日(金) えびなこどもセンター201会議室	教育相談コーディネーター・小中学校カウンセラー・スクールソーシャルワーカー	・情報提供 ・中学校区毎の情報交換等

(4) 協議会

	会議名 日時・会場	対象者	内容(概要)
1	現職教育運営協議会 4月16日(火) 書面開催 11月21日(木) 2月19日(水) えびなこどもセンター201会議室	校長会代表2名 研究会長2名 教頭会代表2名	・令和7年度研修計画について ・令和6年度の成果と課題の報告と令和7年度の方針性
2	幼・保・小・中連絡協議会 中学校区毎に開催 ①4月中旬～5月下旬 小学校 ②8月下旬～9月下旬 小学校 ③1月下旬～2月下旬 幼稚園・保育所	中学校区担当校長 小学校・中学校・幼稚園・保育所・療育機関等の担当者	・授業参観、保育参観 ・情報交換 生活や学びの接続・学校段階等間の交流や連携・支援における連携等 ・協議 「架け橋期のカリキュラム」について

(5) ひびきあう教育

海老名市の21世紀の教育理念「ひびきあう教育」の推進に向けて、各学校の教育活動の充実を図るため、市内の小・中学校に教育実践研究を委託しています。その中から研究指定校を指定し、研究の一層の推進を図っています。

ア 校内研究

学校名	研究テーマ
海老名小学校	自ら考えを広げようとする子 ～話し合い活動の充実を通して～
柏ケ谷小学校	一人ひとりが学びをたのしむ授業 ～互いの考えを伝え合い、広げる活動を通して～
有鹿小学校	伝え合い、認め合い、学びを楽しめる子の育成 ～対話を通して、学びを深めよう～
大谷小学校	粘り強くチャレンジし、 自分を豊かに表現する子を目指して ～対話を通して読む力を高める国語科の授業づくり～
上星小学校	自ら考え、主体的に取り組むこどもの育成 ～書く活動を通して～
中新田小学校	主体的に考え、共に学び合う児童の育成をめざして ～算数科における協働学習を通して～
門沢橋小学校	自分の考えを広げることができる子の育成 ～子どもがすすんで学べる授業作りの工夫～
東柏ケ谷小学校	学ぶよろこびをみんなで ～考えて 伝える、伝え合って 深め 広げる～
社家小学校	「主体的に学ぶ」社家っ子をめざして ～子どもの考えを「引き出し深める場」の工夫を通して～
杉久保小学校	自分の考えをもち、認め合うことで考えを深められる杉の子を めざして～算数科の学習を通して～
杉本小学校	かかわり合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成 ～ESD 7つのスキルの視点からの授業づくり～
海老名中学校	新しい時代に必要となる資質・能力の育成と評価の在り方を見 直す～授業のアップデートとカリキュラムのデザイン～
有馬中学校	自立した学習者を育てる学校・授業の在り方
海西中学校	人間関係づくりに生きる主体的・対話的で深い学びの研究
柏ケ谷中学校	柏ケ谷中学校の平和教育～総合的な学習の時間を軸として～
大谷中学校	学びのアップデートと組織的な取組 ～当たり前を見直し、応援される学校へ～

イ ひびきあう教育研究指定校

	学校名	研究テーマ
研究委託校	有馬小学校	自己の生き方についての考えを深め、歩む子を目指して ～関わりあい・語りあい・高めあい～
	今泉小学校	誰もが安心して主体的に学び、共に育つ学校づくりを目指して ～インクルーシブ教育の充実に向けて～
	今泉中学校	これからの社会を生き抜くためのLearningへ ～「聴いて 考えて つなげる」(受信・思考・発信)・学び たくなる課題の工夫～

ウ ひびきあう教育研究発表大会

ひびきあう教育研究指定校は、研究内容の充実や市内での成果の共有化を図るためにも、ともに「ひびきあう教育」について考えるためにも、学校関係者や保護者、市民に研究の成果を公開しています。

日時	令和6年8月23日(金)	
会場	海老名市文化会館	
シンポジウム	【演題】 個別最適・協働的な学びを実現する「総合的な学習の時間」 【講師】 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 齋藤 博伸 氏 日本生活科・総合的学習教育学会 顧問 吉田 豊香 氏	
	学校名	研究テーマ
令和5年度 研究委託校	社家小学校	「主体的に学ぶ」社家っ子をめざして ～子どもの考えを「ひき出し深める場」の工夫を通して～
	杉久保小学校	自分の考えをもち、伝え合うことで考えを深められる杉の子 をめざして ～国語科における読む活動を通して～
	大谷中学校	当たり前を見直す「学びのアップデートと組織的な取り組み」

(6) 訪問指導(よりよい授業づくり)

ア よりよい授業づくり〈訪問指導〉

「えびなっこしあわせプラン」の柱である「授業改善」をテーマに、授業を公開し、語り合うことで、よりよい授業づくりの一助とすることを目的としています。

学校名	日にち
柏ヶ谷中学校	令和6年5月22日
海老名小学校	令和6年6月7日
柏ヶ谷小学校	令和6年6月25日
今泉中学校	令和6年9月26日
中新田小学校	令和6年10月24日
今泉小学校	令和6年12月4日 令和6年12月5日
東柏ヶ谷小学校	令和7年2月5日

イ よりよい授業づくり〈公開授業研究〉

生活科・総合的な学習の時間の公開研究授業、参加者による協議会、講師による講義をとおして、今求められている授業「主体的・対話的で深い学び」について、教職員ひとりひとりが理解を深め、授業改善を図ることを目的としています。

学校名	日	講師	対象者
大谷中学校	令和6年7月4日	文部科学省 初等中等 教育局 教育課程課 教科調査官	実施校教職員 及び 小中学校全教職員 (希望者)
大谷小学校	令和6年10月3日	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程 調査官	
有馬中学校	令和6年12月18日	齋藤 博伸 氏	

6 教育支援

(1) 学校 I C T ・ プログラミング教育

情報化社会で必要とされる情報活用能力を身に付けた児童生徒を育成するために、学校 I C T の活用を行っています。また、プログラミング的思考により広がる可能性を追求し、未来で活躍するえびなっこの育成に努めています。

ア I C T 教育推進計画

(令和7年4月1日時点)

学校 I C T の環境整備とその活用について、令和6年度策定した海老名市学校 I C T 活用推進計画に基づいて、計画的に推進していきます。また、G I G A スクール構想で導入されたタブレット端末については、各教科での活用に加え、家庭への持ち帰りを実施し活用を推進していきます。

イ I C T 機器整備状況

(令和7年4月1日時点)

学校名	1人1台端末		固定プロジェクター数
	iPad	Chromebook	
海老名小学校	902	0	30
柏ヶ谷小学校	393	0	18
有鹿小学校	516	0	21
有馬小学校	321	0	13
大谷小学校	633	0	21
上星小学校	777	0	24
中新田小学校	535	0	18
門沢橋小学校	509	0	19
東柏ヶ谷小学校	429	0	18
社家小学校	512	0	18
杉久保小学校	612	0	23
今泉小学校	1,097	0	27
杉本小学校	565	0	20
海老名中学校	10	548	20
有馬中学校	10	661	19
海西中学校	10	525	17
柏ヶ谷中学校	10	671	22
大谷中学校	10	590	17
今泉中学校	10	681	20

ウ ICT関連研修状況

	研修名 日時・会場	講師	内容(概要)
1	情報セキュリティ担当者会 5月16日(木) オンライン開催	教育支援課	・情報セキュリティについて
2	ICT教育担当者会 5月2日(木) オンライン開催	教育支援課	・各種申請の流れについて ・トラブル報告について ・ICT機器管理について
3	情報セキュリティ研修 10月～11月 各勤務校	オンライン (eラーニング)	・情報セキュリティについて
4	校務支援システム選定委員会 12月19日(木)	教育支援課	・校務支援システムについて

エ 情報教育支援員派遣

海老名市内公立小中学校におけるパソコンおよびタブレット機器とICT機器全般の教職員のサポートを行うことを目的として、全校で6名の情報教育支援員を派遣しています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
派遣回数	各校30回	各校30回	各校19回

オ プログラミング教育支援員派遣

海老名市内公立小学校のプログラミング授業のサポートを行うことを目的として、希望する学校に支援員を派遣しています。打ち合わせを行い、教材選びから指導案作りまで、授業の当日までサポートしています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
派遣校数	9校	10校	11校
派遣時間	333時間	333時間	330時間

※活動報告書作成時間含む

(2) 外国語教育

ア 外国語教育実施計画

海老名市の児童生徒が、わがまち海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、お互いを尊重しながら、協働して社会に参画していく姿を目指し、外国語教育を推進しています。

イ 教職員研修

(ア) 小学校英語専科担当教員による研究実践

指導体制において示した英語専科担当教員は、小学校の担任主導の授業づくりのための研究モデルとしての役割をもちます。専科担当教員による授業公開・協議会をとおして、市としての英語の授業の研究を進めていきます。

(イ) 外国語教育担当者会

国や県、市の方針を確認し、取組状況について情報交換を行うとともに、授業力向上と授業改善を図っています。

(ウ) 小学校外国語教育研修会

小学校における外国語活動及び外国語科の授業実践力を高めるとともに、具体的な評価方法についての共通理解を図ることが目的です。各校で研修動画を視聴する形で実施しています。

(エ) 外国語科・外国語活動年間時間数及びA L T派遣状況

・小学校（A L T派遣：10名）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
時間数	10	10	35	35	70	70

・中学校（A L T派遣：3名）

	1年生	2年生	3年生
時間数	140	140	140

(3) 特別支援教育

ア 特別支援学級

本市では、市内小中学校全校に特別支援学級を設置しています。特別支援学級への入級については、児童生徒の障がいの状況や教育的ニーズについて海老名市教育支援委員会において審議を行い、海老名市教育委員会が決定しています。

近年、市内の特別支援学級在籍児童生徒数は増加傾向にあります。そのような中、すべての小中学校に設置している知的障がい学級、自閉症・情緒障がい学級に加え、児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援学級を設置し、一人ひとりに合わせた適切な指導及び必要な支援を行っています。

【特別支援学級在籍児童生徒数・職員数】（令和7年5月1日時点）

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障がい	海老名小学校	8人	1人
	柏ヶ谷小学校	7人	1人
	有鹿小学校	2人	1人
	有馬小学校	3人	1人
	大谷小学校	3人	1人
	上星小学校	9人	2人
	中新田小学校	5人	1人
	門沢橋小学校	3人	1人
	東柏ヶ谷小学校	7人	1人
	社家小学校	8人	2人
	杉久保小学校	2人	1人
	今泉小学校	9人	2人
	杉本小学校	10人	2人
小 計		76人	17人
自閉症 情緒障がい	海老名小学校	20人	3人
	柏ヶ谷小学校	8人	2人
	有鹿小学校	12人	2人
	有馬小学校	9人	2人
	大谷小学校	16人	2人
	上星小学校	22人	3人
	中新田小学校	9人	2人
	門沢橋小学校	14人	2人
	東柏ヶ谷小学校	14人	2人
	社家小学校	4人	1人
	杉久保小学校	13人	2人
	今泉小学校	22人	3人
	杉本小学校	14人	2人
小 計		177人	28人
肢体不自由	海老名小学校	2人	1人
	有鹿小学校	1人	1人
	今泉小学校	1人	1人
小 計		4人	3人
病弱 身体虚弱	有鹿小学校	1人	1人
	杉久保小学校	2人	1人
	門沢橋小学校	1人	1人
	大谷小学校	1人	1人
	今泉小学校	1人	1人
	杉本小学校	2人	1人
小 計		8人	6人
弱視	杉久保小学校	1人	1人
小 計		1人	1人
言語障害	海老名小学校	1人	1人
小 計		1人	1人
小学校合計		267人	56人

種別	学校名	児童生徒数	職員数
知的障がい	海老名中学校	8人	2人
	有馬中学校	3人	1人
	海西中学校	1人	1人
	柏ヶ谷中学校	4人	1人
	大谷中学校	5人	1人
	今泉中学校	13人	2人
小 計		34人	8人
自閉症 情緒障がい	海老名中学校	10人	2人
	有馬中学校	9人	2人
	海西中学校	11人	2人
	柏ヶ谷中学校	9人	2人
	大谷中学校	6人	1人
	今泉中学校	5人	1人
小 計		50人	10人
肢体不自由	大谷中学校	1人	1人
小 計		1人	1人
病弱 身体虚弱	海老名中学校	1人	1人
	有馬中学校	1人	1人
小 計		2人	2人
中学校合計		87人	21人

【特別支援学校就学状況（小中学部計）】

（令和7年5月1日時点）

学校名	小学部	中学部	合計
えびな支援学校（知的）	12人	12人	24人
えびな支援学校（肢体）	6人	3人	9人
横浜南支援学校	1人	0人	1人
東京都立光明学園	0人	1人	1人
合 計	19人	16人	35人

イ 通級指導教室

本市には、言語面や情緒面に困難さがある児童生徒について、学校生活や学習の課題を改善し、または克服することを目的とする「通級指導教室」が市内小中学校12校に設置されています。ことばやきこえに困り感がある児童が通う「ことばの教室」は小学校3校に、対人関係や感情の調整に困り感がある児童が通う「そだちの教室」が小学校6校に設置されています。また、中学校の通級指導教室として、「じりつの教室」が3校に設置されています。

【通級指導教室 児童生徒数】（令和7年5月1日時点）

設置校	児童生徒数	職員数
柏ヶ谷小学校 ことばの教室【言語】	59	4
杉久保小学校 ことばの教室【言語】	36	3
有馬小学校 ことばの教室【言語】※巡回型	75	4
中新田小学校 そだちの教室【情緒】	51	4
上星小学校 そだちの教室【情緒】	44	4
海老名小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	14	1
大谷小学校 そだちの教室【情緒】	13	1
今泉小学校 そだちの教室【情緒】※自校型	22	2
杉本小学校 そだちの教室【情緒】	11	1
大谷中学校 じりつの教室【言語】※巡回型	31	3
海西中学校 じりつの教室【言語】※巡回型	21	2
柏ヶ谷中学校 じりつの教室【言語】※巡回型	23	2
合計	410	31

※巡回型…複数の学校を教員が巡回して指導します。

※自校型…在籍校の児童・生徒のみの通級指導となります。他は全て、拠点型の通級指導教室になりますが、どの学校に在籍していても通級指導教室を利用することができます。

ウ 教育相談

児童生徒一人ひとりの諸課題について、保護者や学校の相談に応じ、ともに適切な支援方法やよりよい学びの場について話し合います。また、未就学児の保護者を対象に、就学相談を実施し、就学児もその保護者も安心して小学校生活を送ることができるように、保育所や幼稚園、療育施設等の所属機関や就学先の小学校と連携をしています。

エ 介助員・看護介助員の派遣

本市では、身辺処理の介助、移動の介助や安全確保、学習活動の支援を行う介助員を、主に特別支援学級に派遣しています。また、医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍している学校に、看護介助員を派遣しています。

オ 言語聴覚士による巡回指導

特別支援学級に在籍する言語にかかわる障がい等のある児童生徒に対して、巡回指導を行っています。摂食や嚥下等に困難さがある場合には、機能訓練も行っています。

(4) 人権教育

学校教育において、人権ふれあい教育を推進しています。各学校においては教師一人ひとりが人権ふれあい教育についての理解を深め、「人と人とのふれあい」「人と自然とのふれあい」「社会とのふれあい」等の実践的活動ができるよう、全教育活動を通して積極的に推進を図っています。

「『個性、共生、共育』の意識づくり」「差別をしない、させない、許さない」「地域との協働や体験学習の充実」の3つの基本方針を基に、教職員の人権に係る意識向上を図るとともに、児童生徒が自分と違う他者や多様性について考えることを重点として取組を進めました。

ア 教職員研修・会議

	研修・会議名 日時・会場	講師	内容(概要)	参加者数
1	人権教育担当者会議 5月22日(水) 動画視聴による 書面開催		動画視聴による書面開催。国や県、市の人権教育に対する方針の確認と人権課題に関する情報提供や各学校の計画を共有した。	19名
人権団体や県・県央教育事務所が主催する研修会等への参加				

イ 児童生徒対象事業

性的マイノリティについて正しく理解することを通して、偏見や差別をすることなく、多様性を受け入れ、共生していこうとする心情を養うため、中学生を対象として性の多様性に関する講演会を平成30年度より行っています。令和6年度から、中学校1年生又は2年生での実施とし、各校の実態に合わせた学年での実施としています。多様性を受け入れる大切さについて、自分自身をふり返りながら考える機会として継続して取り組んでいます。

また、小学校2年生を対象に人権擁護委員による「人権教室」を行っています。毎年4校程度の学校で実施できるよう調整をしています。

予算	実施校数	講師	対象者
180,000円	中学校6校	ダイバーノン 代表 飯田 亮瑠氏	中学1・2年生

ウ 配付物

「子どもの権利条約」を小学4年生と中学1年生全児童生徒を対象として配付しています。

	配付物	対象者	配付数
小学校	子どもの権利条約	4年生	1,343部
中学校	子どもの権利条約	1年生	1,130部

(5) 新たな学校体制づくり

ア 小中一貫教育

小中一貫教育の推進を重点とし、同じ中学校区の小中学校教員が目指す児童生徒像を共有し、9年間の学びのつながりをつくることで、義務教育9年間で最大限有効に使った教育活動を展開しています。

各中学校区で、年度末に小学校6年生が中学校の授業を見学したり、部活動を体験したりしています。有馬中学校区は、学区が広範囲に渡るため、移動支援のためのバスを配車しています。

イ 学校運営協議会

市内小中学校すべてに学校運営協議会を設置しています。保護者、地域住民の学校運営への参画の促進及び協働を進めることにより、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校を支援するとともに、児童生徒の豊かな学びと健やかな育ちの創造に取り組んでいます。

柏ヶ谷中学校区については、中学校1校、小学校3校による学校運営協議会を実施しています。中学校区で、児童生徒の9年間の学びや成長、そして未来について協議を重ねています。

年度	実施回数	委員委嘱人数
令和4年度	63回	209人
令和5年度	67回	209人
令和6年度	64回	208人

(6) 学校図書館

「主体的・対話的で深い学び」を実現する場として、学校図書館の活用推進を図るため、学校図書を充実させ、新聞を配架しています。「読書センター」の機能だけでなく、「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の機能を発揮できるよう、読み物の図書に加え、授業等学校教育活動にかかわる図書の蔵書増進を図っています。

ア 蔵書

「学校図書館図書標準」を満たした蔵書構成、学校図書館の蔵書の質的な充実に努めています。

【小学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名小学校	10,888
柏ヶ谷小学校	9,090
有鹿小学校	11,124
有馬小学校	8,860
大谷小学校	10,995
上星小学校	9,568
中新田小学校	10,191
門沢橋小学校	8,795
東柏ヶ谷小学校	10,097
社家小学校	9,910
杉久保小学校	10,362
今泉小学校	10,943
杉本小学校	10,116

【中学校】

学校名	蔵書数(冊)
海老名中学校	10,353
有馬中学校	9,893
海西中学校	11,043
柏ヶ谷中学校	9,537
大谷中学校	8,889
今泉中学校	11,104

※令和7年4月1日現在

イ 図書館支援員

平成26年度から市内小中学校に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の環境整備、選書、蔵書点検、児童生徒及び教職員への資料提供や授業支援、調べ学習支援を行っています。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
派遣人数	13人	13人	13人
各校派遣日数	94日	94日	94日

(7) 屋内プール水泳学習

老朽化や安全対策のため、平成19年度から市内の屋内温水プールを利用して、小中学校の水泳学習を施行しました。現在では全校の学校プールを廃止し、屋内温水プールにて水泳の授業を実施しています。

	決算	延べ実施回数	延べバス台数
小学校	34,351,295円	272回	469台
中学校	1,054,240円	10回	10台

(8) 部活動充実支援

部活動の実践的活動を支援し、円滑な実施及び充実、推進を図るとともに、部活動の指導者を派遣することにより、技術の向上・活動の活性化を図ります。

ア 部活動実施（設置）状況

<運動部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	サッカー	●	●	●	●	●	●
2	野球	●	●	●	●	●	●
3	バスケットボール	●	●	●	●	●	●
4	ソフトテニス	●	●		●	●	●
5	バレーボール	●	●	●	●	●	
6	バドミントン	●	●	●	●	●	●
7	剣道		●	●	●	●	
8	陸上競技		●	●			●
9	卓球		●	●	●		
10	ラグビー				●		●
11	ソフトボール		●			●	●

<文化部>

	部活動名	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
1	吹奏楽	●	●	●	●		●
2	合唱		●			●	●
3	英語	●			●		
4	技術家庭科（技術）				●		
5	社会研究			●			
6	パソコン					●	●
7	美術(美術・アートクラフト)	●	●	●	●	●	●
8	自然科学	●					●
9	文芸（芸術）イラスト(漫画)			●	●		
10	囲碁将棋			●	●		
11	写真				●		
12	放送						●

イ 部活動指導員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	5	12	8	10	2	6
文化部	2	2	1	3	0	6

ウ 部活動支援員派遣（人数）

	海老名	有馬	海西	柏ヶ谷	大谷	今泉
運動部	4	8	4	4	6	5
文化部	1	1	2	6	1	2

（9） 学習支援ボランティア

海老名市の小中学校に在籍する児童生徒が学習や生活等の支援を必要とする場合、ボランティアを派遣することにより、本市の教育の向上に資することを目的としています。

活動の内容は配慮を必要とする児童生徒への生活支援、授業における学習支援、放課後における学習支援、その他学校の要請に応じられる支援となっており、報酬は活動1回につき、1,100円を支給しています。

派遣状況（延べ人数）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	2,642人	2,589人	1,896人
中学校	79人	65人	124人

7 教育相談

(1) 相談内容及び件数

相談内容	全相談件数					
	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	総数	実数	総数	実数	総数	実数
犯罪・触法	24件	4件	30件	11件	17件	6件
虞犯不良行為	30件	6件	34件	6件	78件	15件
神経精神（発達）	282件	188件	585件	206件	871件	266件
家庭内暴力	4件	4件	3件	3件	4件	2件
家族関係	646件	158件	755件	178件	787件	189件
いじめ	5件	5件	1件	1件	6件	5件
不登校	2,091件	330件	2,590件	372件	1,857件	291件
学業・進路・進学	297件	218件	246件	198件	106件	76件
学校生活	44件	29件	66件	26件	131件	55件
男女交際	0件	0件	0件	0件	0件	0件
性の悩み	0件	0件	1件	1件	16件	3件
対人関係	1件	1件	0件	0件	5件	4件
その他	3件	3件	16件	7件	18件	6件
合計	3,527件	946件	4,327件	1,009件	3,896件	918件

8 安全対策

(1) 人的支援について



ア 通学路巡回パトロール員

人 数	18名 ・ 2 名ずつ 3 台に分けて巡回 ・ 登校時・下校時に各 6 名体制
車両台数	3 台 ・ 青色防犯パトロール車
巡回場所	市内全域の通学路 ・ 北部・中部・南部のエリアごとに巡回
巡回時間 (原則)	登校時： 7 時30分～ 9 時30分 下校時：12時30分～16時30分
年間巡回日数	210日



イ 学校安全監視員

人 数	39名 ・ 小学校13校に各 3 名 ・ 午前・午後に各 1 名体制
配置場所	市立小学校13校
配置時間 (原則)	午前： 8 時00分～12時00分 午後：12時00分～16時00分
年間配置日数	210日



ウ 通学路立哨員

人 数	2 名 ・ 登校時・下校時に各 1 名体制
配置場所	市立柏ヶ谷小学校の通学路
配置時間 (原則)	登校時： 7 時40分～ 8 時40分 下校時：14時20分～16時20分
年間配置日数	210日

(2) 不審者情報

年度	露出	声かけ	暴行	盗撮	つきまとい	その他	合計
令和4年度	9件	19件	1件	1件	6件	8件	44件
令和5年度	5件	16件	0件	4件	11件	10件	46件
令和6年度	17件	18件	0件	9件	12件	13件	73件

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について (令和7年4月1日時点)

ア 海老名市立小中学校の学校再開ガイドラインの作成

緊急事態宣言の解除後の学校教育活動の再開に向け、「海老名市立小中学校の学校再開ガイドライン」を作成しました。このガイドラインでは、令和2年6月1日からの分散登校や児童生徒への保健指導「えびなっ子スタイル」、長期休業期間の短縮、心のケアなど学校再開にあたっての詳細を定めたものです。

イ 「学校の新しい生活様式」ガイドラインの作成

令和2年7月、海老名市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議により海老名市内地域の感染状況を判断しレベルで表し、そのレベルに準じた教育活動の行動基準を「『学校の新しい生活様式』ガイドライン」として策定しました。令和3年度は、ウイルスの変異株の出現により再び緊急事態宣言が県下に発令され、対策の強化が求められました。

令和4年度は、オミクロン株と呼ばれる変異株が主となり、感染力が強いためより罹患しやすく、健康観察の強化と医療機関への受診・相談、医療用抗原検査キット等を使用した対策等を求めました。また、地域の感染状況に合わせてレベルを捉え直し、学校教育活動を継続できるよう方針を示しました。

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
1	海老名市立小中学校の 学校再開ガイドライン	令和2年5月27日	なし	～5/31臨時休業 6/1～12分散登校
2	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年7月1日	レベル1	教育課程再編成
3	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年11月1日	レベル1	健康管理カード導入 開始
4	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和2年12月1日	レベル2	11月中旬から 感染者増加傾向
5	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年1月8日	レベル3	1/7 緊急事態宣言発出
6	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年4月1日	レベル2	4/1～リバウンド防止期間 4/16まん延防止等重点措置対象
7	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年7月1日	レベル1	6/21まん延防止等重点措 置解除
8	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年8月23日	レベル3	8/2 緊急事態宣言発出
9	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年9月3日	レベル3	8/27 2学期開始 登校時検温
10	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月1日	レベル2	10/1 緊急事態宣言解除
11	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年10月16日	レベル1	感染者数減少続く

	名称	策定日時	地域の 感染レベル	備考
12	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和3年12月22日	レベル1	年末年始に向けて
13	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年1月20日	レベル2	1/21～まん延防止等重点措置適用
14	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年2月24日	レベル2	2/4オミクロン株に対応した感染症対策
15	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年3月22日	レベル2	3/22まん延防止等重点措置解除
16	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年4月5日	レベル2	新年度に向けて
17	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年5月18日	レベル2	収束局面・可能な限り学校教育活動の継続
18	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年6月7日	レベル1	感染症対策と並行した熱中症対策
19	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年8月19日	レベル1	8/29～地域の感染レベルの考え方の変更
20	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和4年9月8日	レベル1	療養期間等の見直し
21	「学校の新しい生活様式」 ガイドライン	令和5年4月1日	定めない	学校教育全般で活動制限なし、マスクの着用をしないことが基本

ウ 5類移行後の学校生活について

令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の分類が「2類」から「5類」に引き下げられたため、「学校の新しい生活様式」ガイドラインを廃止し、コロナ禍で身についた基本的な保健衛生に係る取組を継続し、学校教育活動を行っていくことにしました。

9 学校保健

(1) 学校事故（独立行政法人 日本スポーツ振興センター扱い）

ア 負傷・疾病の種類別災害発生状況（令和6年度実績）

負傷・疾病別		小学校	中学校	合計
負傷	骨折	63件	87件	150件
	捻挫	13件	45件	58件
	脱臼	6件	5件	11件
	挫傷・打撲	81件	74件	155件
	靱帯損傷・断裂	3件	18件	21件
	挫創	20件	8件	28件
	切創	2件	0件	2件
	刺創	1件	0件	1件
	割創	1件	1件	2件
	裂創	1件	0件	1件
	擦過傷	3件	0件	3件
	熱傷・火傷	0件	0件	0件
	歯牙破折	1件	0件	1件
	その他	0件	0件	0件
	小計	195件	238件	433件
疾病	食中毒	0件	0件	0件
	食中毒以外の中毒	0件	0件	0件
	熱中症	9件	0件	9件
	溺水	0件	0件	0件
	異物の嚥下・迷入	1件	0件	1件
	接触性の皮膚炎	1件	0件	1件
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	3件	8件	11件
	負傷に起因する疾病	3件	2件	5件
	小計	17件	10件	27件
合計		212件	248件	460件

イ 負傷・疾病の場所別災害発生状況（令和6年度実績）

場所別		小学校	中学校	合計
学校内 校舎内	教室	30件	6件	36件
	実習実験室	7件	3件	10件
	体育館・屋内運動場	42件	99件	141件
	講堂	0件	0件	0件
	遊戯室	0件	0件	0件
	廊下	7件	7件	14件
	昇降口・玄関	6件	0件	6件
	階段	15件	9件	24件
	ベランダ	0件	0件	0件
	屋上	0件	0件	0件
	便所	0件	0件	0件
	その他	0件	0件	0件
	小計	107件	124件	231件
学校内 校舎外	運動場・校庭	79件	88件	167件
	プール	1件	0件	1件
	排水溝	0件	0件	0件
	手足洗場	0件	0件	0件
	水飲み場	0件	0件	0件
	農場	1件	0件	1件
	その他	3件	0件	3件
	小計	84件	88件	172件
学校外 校舎外	道路	15件	7件	22件
	公園・遊園地	0件	0件	0件
	運動場・競技場	0件	14件	14件
	体育館	0件	11件	11件
	山林野	3件	0件	3件
	海・湖・沼・池	0件	1件	1件
	河川	0件	0件	0件
	その他	3件	3件	6件
	小計	21件	36件	57件
合計		212件	248件	460件

(2) インフルエンザワクチン接種助成

家庭の経済状況にかかわらず、「入学試験」や「就職試験」などの人生の節目を迎える中学3年生が、インフルエンザに罹患することなく、試験等において十分に力を発揮できるよう、インフルエンザ予防接種費の助成を行っています。

各中学校におけるインフルエンザワクチン対象者数及び接種数の実績
(令和6年度実績)

(単位：人、%)

学校名	対象者数	接種数	割合
海老名中学校	161	97	57.1
有馬中学校	204	102	50.0
海西中学校	177	82	46.3
柏ヶ谷中学校	204	99	48.5
大谷中学校	171	87	50.9
今泉中学校	198	108	54.5
私学等	117	61	52.1
合計	1,232	631	51.2

10 学校給食

(令和7年5月1日時点)

(1) 学校給食の状況

- ・ ミルク給食がスタート
- ・ 昭和48年5月 共同調理場方式による学校給食センターを開設し、直営による小中学校完全給食を開始
- ・ 昭和52年4月 共同調理場方式による南部学校給食センターを開設
- ・ 昭和56年9月 中学校完全給食をミルク給食に切り替え
- ・ 平成5年9月 給食の食器をランチ皿から個別食器に改善
- ・ 平成14年4月 南部学校給食センターの調理業務委託を開始
- ・ 平成20年1月 東柏ヶ谷小学校において、単独校方式による給食施設を開設し、直営による自校給食を開始
- ・ 平成20年4月 学校給食センターの調理業務委託を開始
- ・ 平成23年度 市内全中学校で選択式給食（配食弁当）を開始
- ・ 平成24年度 学校給食費を「私会計」から「公会計」へ移行
- ・ 平成24年9月 学校給食センターと南部給食センターを統合し、海老名市食の創造館(多機能共同調理場)を開館、小学校給食を開始
- ・ 平成27年度 食の創造館を指定管理による管理運営へ移行
- ・ 平成30年4月 東柏ヶ谷小学校における給食運営を調理業務委託として開始
- ・ 令和元年度 学校給食検討委員会を設立し今後の給食のあり方を検討
- ・ 令和2年度 食の創造館の管理運営を指定管理から市直営へ移行
- ・ 令和3年度 学校給食検討委員会の結果を受け、中学校給食調理施設の建設準備を開始
- ・ 令和4年6月 食の創造館別館建設開始
- ・ 令和5年4月 中学校給食の完全実施に向けて中学校給食実施検討会を設立
- ・ 令和6年1月 食の創造館別館竣工
- ・ 令和6年4月 中学校給食完全実施

(2) 学校給食の目標

- ・ 地産地消を推奨し、郷土や食材への感謝の気持ちを育むとともに、食生活についての正しい理解と望ましい習慣を養います。
- ・ 児童の健康に配慮し、食品の安全確保と衛生管理の徹底に努めます。
- ・ 学校訪問による児童への指導や、保護者の要望に応じた試食会を通じ、食育の推進や学校給食への理解が深まるよう積極的に努めます。
- ・ 児童の嗜好を把握しつつ、栄養改善や健康増進に向けて献立を工夫します。

(3) 給食内容の充実

献立作成においては、児童の嗜好の変化や栄養のバランスに十分配慮し、一層の充実を図ります。また、学校給食摂取基準に従い、通常、不足しがちな鉄分や食物繊維の摂取量を増やすなど、工夫と改善に努めています。

(4) 施設の概要

ア 海老名市食の創造館



所在地	海老名市中新田四丁目12番2号
敷地面積	4,973.55㎡
構造・規模	鉄骨造2階建
建築面積	2,481.98㎡
延床面積	3,484.21㎡
調理能力	8,000食/日
供用開始	平成24年9月
給食実施数	7,270食（令和7年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託
特徴	給食機能に加え、食育を推進し、広く市民にサービスを提供する市民開放型の多機能施設を目指し、調理実習室や会議室を一般開放するほか、災害時の炊き出し、幼稚園給食等も視野に入れた施設活用を図っています。

イ 海老名市食の創造館別館



所在地	海老名市中新田四丁目12番3号
敷地面積	1,222.52m ²
構造・規模	鉄骨造3階建
建築面積	862.10m ²
延床面積	2,209.38m ²
調理能力	4,500食
供用開始	令和6年4月
給食実施数	3,530食（令和7年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託
特徴	災害時の炊出しにも対応可能です。また、既存施設は都市ガス、本施設は電気と熱源を分けることでリスクの分散を図っています。

ウ 東柏ヶ谷小学校給食室



所在地	海老名市東柏ヶ谷六丁目9番7号 （※海老名市立東柏ヶ谷小学校内）
敷地面積	325.50m ²
調理能力	700食/日
供用開始	平成20年1月
給食実施数	430食（令和7年5月1日現在）
運営形態	調理業務委託

11 就学援助

スクールライフサポート（就学援助）制度では、経済的な理由により就学困難な海老名市立小中学校の児童生徒の世帯に対し、学用品費や給食費など、学校生活に必要な費用の一部を援助しています。

（１）スクールライフサポート（就学援助）の認定者数及び認定率

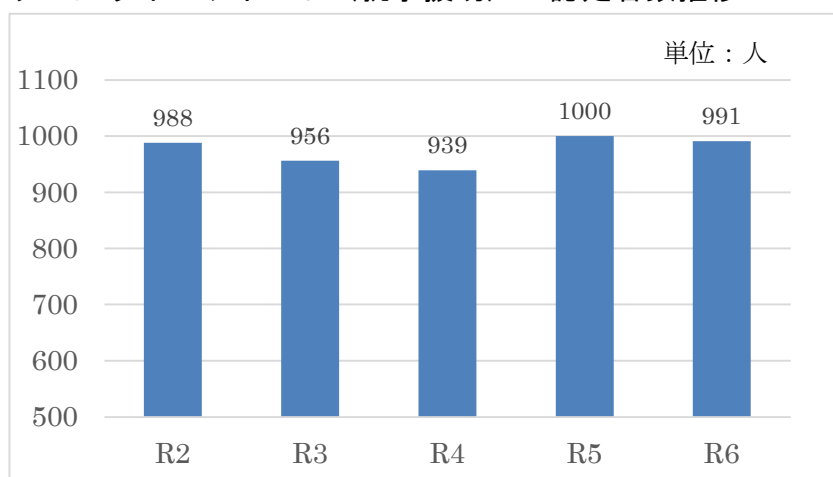
ア 小学校

年度	児童数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
R 4	7,106人	633人	600人	8.44%	94.79%	33人
R 5	7,117人	674人	649人	9.12%	96.29%	25人
R 6	7,109人	673人	626人	8.81%	93.02%	47人

イ 中学校

年度	生徒数 (A)	申請者数 (B)	認定者数 (C)	認定率 (C/A)	認定率 (C/B)	否認定者数
R 4	3,381人	351人	339人	10.03%	96.58%	12人
R 5	3,378人	372人	351人	10.39%	94.35%	21人
R 6	3,402人	389人	365人	10.73%	93.83%	24人

スクールライフサポート（就学援助）の認定者数推移



12 奨学金

(1) 目的

経済的理由により、学校教育法に規定する高等学校・中等教育学校の後期課程・専修学校・高等専門学校（第3学年まで）への修学等が困難な方に奨学金を給付し、未来の夢や目標の実現を支援するものです。（生活保護世帯は対象外となります。）

(2) 奨学金の額

年額80,000円

(3) 奨学金支給実績

令和6年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	31	新規	31	29	2	0
		継続				
2	29	新規	1	0	1	0
		継続	28	27	0	1
3	14	新規	3	3	0	0
		継続	11	11	0	0
4 (定時制)	0	新規				
		継続				
計		74		70	3	1

令和5年度

(人数)

学年	申請	申請内訳		支給	不支給	辞退
1	45	新規	45	35	10	
		継続				
2	19	新規	4	4	0	0
		継続	15	12	3	0
3	23	新規	4	4	0	0
		継続	19	15	4	0
4 (定時制)	1	新規	0	0	0	0
		継続	1	0	1	0
計		88		70	18	0

13 保護者負担軽減

子どもたちが学校生活を送る上で、保護者は教材費や通学用服(制服)、修学旅行費など、さまざまな経費を負担していました。

このため、平成29年7月から平成30年8月まで、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方について、「公平性を確保すること」、「保護者への説明責任を確実に果たすこと」を基本的な考え方として、海老名市保護者負担経費検討委員会で協議・検討を進めてきました。

また、令和6年5月から令和7年1月まで、海老名市立学校における保護者負担経費の在り方検討委員会で改めて保護者負担軽減の在り方についてこれまでの取組及び社会経済情勢を踏まえて協議・検討を進めてきました。

今後は、周知や説明を十分に行っていく、学校・家庭・行政で連携した取組を行うことによって、保護者負担経費の適正化に積極的な推進を図っていきます。

(1) ジャージ服(上下)について

平成30年から令和5年にかけて、中学校6校のジャージ、体操着(ハーフパンツ)選定コンペを実施しました。これにより価格が抑制されたことで、保護者負担軽減につながるとともに、質を高めることができました。

(単位: 円)

学校名	現行ジャージ				コンペ開催日 参加申込 業者数	落札者 契約期間	新ジャージ				差額
	上	下	ハーフ パンツ	合計 金額			上	下	ハーフ パンツ	合計 金額	
海老名中学校	4,968	4,428	2,268	11,664	H30. 8. 21 13者	(株)トンボ H30. 9. 1~R3. 8. 31	4,150	3,150	1,700	9,000	△2,664
海 西中学校	4,968	4,644	3,024	12,636	R1. 10. 11 6者	阿部被服(株) R1. 11. 18~R4. 8. 31	3,850	3,190	2,090	9,130	△3,506
有 馬中学校	5,184	4,536	3,024	12,744	R2. 2. 19 8者	(株)トンボ R2. 5. 8~R5. 8. 31	3,850	3,600	2,450	9,900	△2,844
柏ヶ谷中学校	5,170	4,400	3,190	12,760	R4. 8. 6 4者	(株)トンボ R4. 12. 1~R7. 8. 31	4,400	3,750	2,550	10,700	△2,060
大 谷中学校	4,536	4,428	2,754	11,718	R4. 8. 20 5者	児島(株) R4. 12. 1~R7. 8. 31	3,850	3,190	2,390	9,430	△2,288
今 泉中学校	4,730	4,620	2,310	11,660	R5. 8. 25 1者	児島(株) R5. 9. 1~R8. 8. 31	5,060	3,740	2,640	11,440	△220

卸売価格見積り合わせ実施状況一覧

学校名	現行ジャージ				見積り合わせ 実施日 参加申込 業者数	落札者 契約期間	ジャージ卸売価格(税込み)				《参考》 差額	備考
	上	下	ハーフ パンツ	合計 金額			上	下	ハーフ パンツ	合計 金額		
海老名中学校	4,968	4,428	2,268	11,664	R5. 7. 21 1者	(株)トンボ R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,190	2,860	1,870	7,920	△1,080	刺繍代含まず
海 西中学校	4,968	4,644	3,024	12,636	R5. 7. 21 1者	阿部被服(株) R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,520	2,750	2,200	8,470	△660	刺繍代含む 各220円(税込)
有 馬中学校	5,184	4,536	3,024	12,744	R5. 7. 21 1者	(株)トンボ R5. 9. 1~R8. 8. 31	3,630	3,190	2,200	9,020	△880	刺繍代含まず

コンペにより選定したジャージ(海老名中学校)



(2) 教材費無償化事業

これまでも入学時の負担軽減のため小学1年生、中学1年生に対しては市が教材費を負担していましたが、令和6年度から小・中全学年を対象に教材費無償化事業を実施しています。

私立学校等に通う小・中学生に対しては市立学校の教材費の学年上限を限度に補助金を交付しています。

＜市立学校教材費補助・私立学校教材費補助金の学年別上限額（一人あたり）＞

小学校		中学校	
1年生	10,000円	1年生	19,000円 (リコーダー含む)
2年生	12,000円 (絵の具セット含む)	2年生	13,000円
3年生	16,000円 (書道セット、 リコーダー含む)	3年生	14,000円
4年生	11,000円		
5年生	12,000円		
6年生	13,000円		

(3) 修学旅行保護者負担軽減補助金

修学旅行を通じた児童生徒の学びを保障し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、児童生徒の修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付しています。

補助金の対象者は、海老名市在住の修学旅行に参加する小学校6年生の保護者及び中学校3年生の保護者で、補助金の上限額は、小学校児童一人あたり10,000円、中学校生徒一人あたり15,000円です。

＜補助金額＞

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	11,630,000円	11,870,000円	11,390,000円
中学校	15,368,249円	15,337,297円	15,070,100円

(4) 修学旅行等キャンセル料補助金

修学旅行等を災害等の理由により中止、延期及び不参加とした場合に発生するキャンセル料（旅行業者へ支払う違約金、交通費・宿泊費等の追加料金など）に対し、児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減を図るため、補助金を交付しています。

＜補助金額＞

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	0円	0円	0円
中学校	110,093円	344,594円	138,707円

(5) 野外教育活動推進事業負担金

野外教育活動に参加する小学校児童の保護者の負担軽減を図るため、野外教育活動に要する経費に対し、負担金を交付しています。

＜負担金額＞

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	15,398,578円	14,962,689円	17,163,371円



第4章 社会教育・その他

1 社会教育の推進

(1) 社会教育委員会議

社会教育法第17条の規定により、市の社会教育に関し助言をするため、教育委員会から委嘱された社会教育委員により実施される会議です。

海老名市の社会教育委員会議は、図書館協議会を兼ねていることから、市立図書館の運営等についても協議を行っています。

なお、委員の任期は1年、定数は10人以内となっており、次の者から教育委員会が委嘱しています。

ア 学校教育関係者	1人
イ 社会教育関係者	4人
ウ 家庭教育の向上に資する活動を行う者	2人
エ 学識経験者	3人

【社会教育委員会議・令和6年度実績】

	日時	場所	出席 委員数	議題・報告等
第1回	6月21日(金) 10:00～11:40	えびなこども センター2階 201会議室	10人	県社会教育委員連絡協議会理事及び学校・地域ネットワークづくり運営委員の選出について
				海老名市社会教育計画について
				県社会教育委員連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウム、えびなっ子ふれあいフェスタについて
				令和6年度社会教育関係団体への補助金について
				海老名市立図書館資料選定・除籍基準の改定について
				海老名市立図書館について
第2回	8月1日(木) 10:00～11:30	えびなこども センター2階 201会議室	7人	えびなっ子ふれあいフェスタについて
				県社会教育委員連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウムについて
第3回	8月28日(火) 10:00～11:30	えびなこども センター2階 201会議室	9人	県社会教育委員連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウムについて
				えびなっ子ふれあいフェスタについて
				海老名市電子図書館について
				海老名市立図書館について
第5回	1月21日(火) 10:00～11:50	えびなこども センター2階 201会議室	8人	県社会教育委員連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウム・えびなっ子ふれあいフェスタについて
				海老名市社会教育計画について
				海老名市立図書館に関するアンケート結果について
第6回	2月28日(金) 10:00～12:00	えびなこども センター2階 201会議室	8人	海老名市社会教育計画について
				第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について
				令和7年度社会教育関係団体への補助金について
				海老名市立図書館の運営について
				電子図書館に関するアンケート結果について

(2) 社会教育計画

(令和7年4月1日時点)

ア 計画の概要

海老名市では、平成24年度から社会教育を子どもにかかわることを中心とした形をとることで、学校教育と社会教育両面から子どもたちの健全育成を支援して来たところですが、平成27年度には「社会教育計画」を5箇年計画として策定し、その計画に基づき、子どもと大人がともに育つことを目標として計画を推進し、一定の成果を残すことができました。

令和2年度には、海老名市の子どもたちを取り囲む社会教育関係団体の連携を図り、目指すべき子どもの姿を目標に、すべての子どもたちの成長を支える新たな「社会教育計画」を策定しました。

その計画を具現化するため、目指すべき子どもの姿を設定し、計画的に実施していきます。

イ 計画期間

計画期間は令和2年度から令和7年度までの6年間としています。

※ただし、社会情勢や計画の進捗を踏まえ、社会教育委員会議に諮りながら必要に応じて見直しを行います。

(3) 神奈川県社会教育連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウム及びえびなっ子ふれあいフェスタ (令和6年度実績)

社会教育計画の目指すべき子どもの姿を共有する場として、また、社会教育関係団体の連携を図る場として「えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウム」を令和6年度も実施しました。「神奈川県社会教育連絡協議会地区研究会」の開催市となっていたため、地区研究会とシンポジウムを兼ねて開催し、県内各市町の社会教育委員にも参加いただきました。海老名市の取組を紹介するよい機会となり、参加された他市町の方からも好評を得ました。

ア ふれあいフェスタ

「えびなっ子ふれあいフェスタ」は、子どもも大人も参加体験できる場を提供し、体験をとおして社会教育への関心を高め、自分の生き方につなげていくことをねらいとしています。

令和6年度は「新体操」、「有馬高等学校 ダンス部」、「はやし保存会」、「茶道協会 和会」、「海老名二胡の会」、「リトミック」、「つくってあそぼう」、「えびな支援学校」、「太極拳協会」、「海老名市立図書館」に体験活動を提供していただき、事前申込制をとった体験には、定員190名に対して多くの応募があり、多くの子どもたちが参加しました。



イ 神奈川県社会教育連絡協議会地区研究会兼えびなっ子いきいきシンポジウム

今まで海老名市社会教育委員会が取り組んできたことをシンポジウムの中で他市町の方に紹介しました。市内の団体の方や子どもたちの力を借りたアトラクションや人権作文朗読、トークセッションなど、社会教育委員が工夫を凝らし、今までにない地区研究会の形に、「新しい風を感じた。」と参加された方々からとても好評を得ました。



(4) 社会教育関係団体支援

子どもたちの社会教育活動を推進する青少年育成団体に対し活動支援を行っています。

- ・スカウト連絡協議会
- ・単位子ども会
- ・青少年健全育成連絡協議会
- ・青少年指導員連絡協議会
- ・PTA連絡協議会

(5) 市民講座（まなBINA）

社会教育の充実を図ることを目的とし、幅広い年齢層を対象に学びの場・交流の場を提供するため1テーマごとに連続した講座開催形式を取り入れた講座を実施しています。

各講座のテーマ構成については、市民にとって魅力的な講座となるよう、「歴史、文学の視点」、「高等教育の視点」、「小・中学生育成の視点」の3つの視点でテーマ構成をしています。

【市民講座・令和6年度実績】

○連続講座

テーマ及び講座	開催日	講座タイトル	定員	申込者数 (応募率)	満足度
「源氏物語～セリフで読む紅葉賀巻・花宴～」 神奈川大学日本常民文化研究所 特別研究員 繁田 信一 氏	6月17日(月)	人々を魅了する光源氏の舞	60名	60名 (100%)	96%
	6月24日(月)	源典侍との戯れ			
	7月1日(月)	朧月夜との危険な情事			
「海外支援の今～パレスチナの人々と共に～」 パレスチナ刺繍帯プロジェクト 主宰 山本 真希 氏 NPO地球のステージ 代表理事・医師 桑山 紀彦 氏	9月18日(水)	戦争を乗り越えてきたパレスチナ刺繍	60名	35名 (58%)	100%
	9月25日(水)	トラウマと共に生きる ～パレスチナでの心のケア活動を通して～			
「生物多様性！身近な生き物の現状から今後について考える」 東海大学教養学部 教授 藤吉 正明 氏	10月4日(金)	生物多様性とは一体何なのか？ その役割と意義について学ぶ	30名	25名 (83%)	94%
	10月11日(金)	水田での動植物の観察			
	10月18日(金)	生物多様性保全活動とその取り組み事例の紹介			

「平安時代の日常生活と陰陽道」 神奈川県日本常民文化研究所 特別研究員 繁田 信一 氏	10月28日(月)	藤原道長の日常生活と平安時代の陰陽師	60名	60名 (100%)	94%
	11月11日(月)	安倍晴明の五芒星と平安京の四神相応			
	11月25日(月)	物忌と方違の誤解と正解			
「続・隣町と海老名～明治維新と村～」 長春師範大学客員教授 海老名市文化財保護審議会委員 片山 兵衛 氏	2月6日(木)	武士と維新	60名	60名 (100%)	94%
	2月13日(木)	農民たちと維新			
	2月20日(木)	暮らしと意識			

○小・中学生のための科学講座

テーマ及び講座	開催日	講座タイトル	定員	申込者数(応募率)	満足度
たのしく作って、実験して、体のしくみを知ろう！ 海老名市立今泉中学校 元中学校教諭 野田 啓司 氏	11月30日(土)	見えるって、どういうこと？ ～光で遊ぼう～	20名	14名 (70%)	98%
	12月7日(土)	聞こえるって、どういうこと？ ～音で遊ぼう～		14名 (70%)	
	12月14日(土)	どうして、物を持ち上げられるのかな？ ～力で遊ぼう～		18名 (90%)	

(6) 家庭教育学級

現在、子どもを取り巻く環境も日々大きく変化し、そのような中で子育てせざるを得ない状況に、不安や戸惑いを感じている保護者も多いと考えられます。

そのため、子育てに関する気づきやヒント、また、家庭・学校に関することなどを計画的・継続的に学習し、子どもの成長に役立てていただけるよう、「家庭教育学級」を実施しています。

令和6年度は、小学校7校、中学校4校、幼稚園2園に加えて、保護者の学習機会の提供と学級を開催するPTAの負担を軽減するため、市主催で家庭教育学級も継続して実施しました。

親子参加型で実施するなど、子どもと大人がともに学ぶ場を提供することができ、家庭教育学級の目的については、一定以上の効果を得られたと感じています。

【家庭教育学級・令和6年度実績】

学校名等	開催日	テーマ	講師	参加者数
海老名小学校	11月27日(水)	アロマセラピーを使った冬の風対策	大村 はるみ 氏	26人
有鹿小学校	10月17日(木)	自分の心のメッセージを受け取ろう	宮台 智子 氏	15人
有馬小学校	11月15日(金)	自律神経を整えよう-温活のススメ	ルピナス鍼灸治療院 院長 鍼灸師 マッサージ師 日置江 裕子 氏	13人
大谷小学校	6月28日(金)	助産師による性教育～いのちの話～ ※5年生参加	助産師 山浦 直子 氏	29人
	1月31日(金)	助産師による性教育～いのちの話～ ※6年生参加		18人

学校名等	開催日	テーマ	講師	参加者数
上星小学校	11月11日(月)	子どもと心を通わせるコミュニケーション～お互いに率直に気持ちを伝えるコツ～	親業訓練インストラクター 松本 純 氏	19人
中新田小学校	1月21日(火)	『いのちってすごい!』～親子で聴こう いのちの話、家庭でできる性教育～ ※5、6年生参加	助産師 山浦 直子 氏	42人
杉久保小学校	12月2日(月)	海老名市の防災対策 家庭でできる防災対策	海老名市役所 危機管理課職員	19人
有馬中学校	7月10日(水)	おなか元気教室	厚木ヤクルト販売株式会社 岩崎 友紀 氏	14人
海西中学校	11月25日(月)	～仕組みがわかれば怖くない! 更年期を幸年期にする方法～	Story 鍼灸サロン 高橋 永子 氏	21人
柏ヶ谷中学校	7月10日(水)	バリバリ肩こりをふわふわに♪肩こり改善リフレッシュヨガ	ヨガ講師 野口 加奈子 氏	動画公開
大谷中学校	11月6日(水)	ヨガ教室	ヨガインストラクター 青木 博恵 氏	11人
旭たちばな幼稚園	6月10日(月)	Zoomベビーマザーコース 「0～1才の発達」	旭たちばな幼稚園 副園長 中西 摩耶子 氏	30人
	6月17日(月)	Zoomベビーマザーコース 「1～2才の発達」		29人
	6月27日(木)	Zoomベビーマザーコース 「1～2才の発達」		35人
	9月9日(月)	改めて考えてみよう! 子どもの睡眠と食生活	玉川大学農学部准教授 佐治 量哉 氏	33人
海老名みなみ幼稚園	6月13日(木)	『ともだちつくろう♪』年中組	海老名みなみ幼稚園 園長 米山 敏子 氏 (保護者どうして自由に話し合う場)	79人
	6月21日(金)	『ともだちつくろう♪』年少組		
	6月28日(金)	『ともだちつくろう♪』年長組		
	9月7日(土)	「もしもの時に…」 救急法講習会	海老名市消防署 救急隊員	45人
	9月30日(月)	親も学びなおそう! 性と生～幼児期からのこころとからだのいのち～	子育て・家庭教育アドバイザー 帝京短期大学こども教育大学 非常勤講師 宗藤 純子 氏	40人
市主催	7月18日(木)	子どもの自己肯定感を高める10のマジックワード	一般社団法人 教育デザインラボ 代表理事 石田 勝紀 氏	128人

2 子ども・学校支援事業

海老名市教育委員会の教育理念「ひびきあう教育」に基づき、学校・家庭・地域社会が連携を図り、地域ぐるみで子どもたちの「しあわせ」を求め育むために学校応援体制を整備し、地域力を生かした社会教育と学校支援の実現を目標とし、子ども・学校支援事業を実施しています。

(1) 学校・地域ネットワークづくり運営委員会、学校応援団運営委員会

(令和7年4月1日時点)

事業を実施するに当たり、地域力を活かした社会教育と学校支援の充実を図るため、市内各小学校に「学校応援団運営委員会」を設置し、学校と地域の実態に応じた機能的で多様な支援活動を推進しています。

また、各校の運営委員会の活動状況を定期的に把握し、本事業のあり方や学校と地域のネットワークづくりに関することなど、今後の方向性について助言や提言を行うため、「学校・地域ネットワークづくり運営委員会」を設置しています。

(2) えびなっ子スクール・あそびっ子クラブ

市内各小学校に設置した学校応援団運営委員会の委託事業として、「えびなっ子スクール」、「あそびっ子クラブ」を実施しています。

「えびなっ子スクール」は、夏季休業中や放課後の時間を利用し、各学校で子どもや地域の実態に応じて創意工夫をしながら、学校教育ではなかなか体験できない多様なプログラムを実施し、子どもたちに体験学習の場を提供しています。

また、「あそびっ子クラブ」は、子どもたちの放課後の居場所の一つとして、通い慣れた学校の体育館やグラウンドなどを活用して、自由に遊んだり、学年を越えた仲間と交流したりすることで、子どもたちの豊かな創造性や協調性などの育成を目的とする事業です。

【えびなっ子スクール実績・令和6年度】

	延べ開催日数	参加者数
令和6年度	94日	6,273人

【あそびっ子クラブ実績・令和6年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和6年度	13校	1,895日	50,765人

(3) まなびっ子クラブ

子どもたちに放課後の学習環境を提供し、学力定着を図るため、各小学校で自学自習の場である「まなびっ子クラブ」を実施しています。

【まなびっ子クラブ実績・令和6年度】

	小学校数	延べ開催日数	参加者数
令和6年度	13校	275日	1,963人

(4) 巡回指導

市内の子どもたちを対象に社会教育支援指導員による工作指導や本などの読み聞かせを実施しています。

【巡回指導実績・令和6年度】

	実施場所	実施回数	参加者数（人）
つくってあそぼう （工作指導）	コミュニティセンター等	62回	591人
	あそびっ子クラブ	56回	1,775人
おはなし会 （読み聞かせ）	市立保育園	115回	2,835人
	あそびっ子クラブ	47回	500人

3 青少年健全育成

(1) 青少年指導員

地域社会における青少年の社会生活を健全に育成指導するため、各自治会から推薦いただき、市の有償ボランティアとして活動しています。

任期は2年で、学校・地域単位で行う活動と市域全体に渡る活動があり、市域全体に渡る活動は、オアシス推進部会、文化レクリエーション部会、広報部会、地域活動推進部会の4つの専門部会を設け、活動しています。

(2) ユース・ぷらっとフォーム事業

次世代の担い手である中・高校生や大学生を中心に自分たちがやりたいこと、住みたいまちの実現に向けた探究活動の場の提供や、地域及び学校の事業に次世代のメンターとして関わりを持つことで、若者の活躍と市民活動への参加促進を目指します。

(3) ユースサポート事業

概ね20歳以上40歳未満の若者を対象にひきこもりやニートの方の相談支援をしています。

また、ひきこもりの家族の方を対象とした講演会を実施しています。

【講演会・令和6年度実績】

開催日	テーマ	講師	参加者数
2月1日(土)	『「ひきこもりを生きる」を支援する（I）～わかりあえない関係は「理解」の違いから～』	social work lab MIRAI 代表 白梅学園大学 名誉教授 長谷川 俊雄 氏	27人

【相談支援実績】

	支援対象	延べ相談回数
令和6年度	12ケース	114回

(4) 二十歳の祝典

年度内に満20歳となる方々の新しい門出を祝福し、社会人としての自覚を高めるために、「成人の日」に式典を開催しています。

また、対象者の中から、有志による実行委員会を設立し、式典の企画から当日の運営までを担っています。

令和6年度の二十歳の祝典は、近年対象者数の増加により1部制ではホールの収容人数を超えてしまう恐れがあるため、昨年度に引き続き2部制で実施しました。

【令和7年 二十歳の祝典概要】

- 1 日 時 令和7年1月13日（月・祝）
【第1部】10時30分～ 海老名・柏ヶ谷・今泉中学校の卒業生
【第2部】13時30分～ 有馬・海西・大谷中学校の卒業生
- 2 会 場 海老名市文化会館 大ホール
- 3 対象者数 1,326人
- 4 参加者数 1,004人（参加率 約76%）
- 5 実行委員 11人



【「二十歳の祝典」実施の様子】

4 図書館

(1) 図書館概要

平成26年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者による運営を行っています。

第二期指定管理者 「えびな学びコンソーシアム」

指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

第三期指定管理者（中央）「カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社」

（有馬）「TRC・相鉄企業体」

指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

ア 中央図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 なし

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート4階建/地下1階建

延床面積 3,659.79㎡

開館 昭和60年4月1日/リニューアル平成27年10月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和6年度）

項 目	実績等
蔵書数	357,415冊
貸出者数	276,409人
貸出冊数	655,451冊
レファレンス件数	251件

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	223回	4,005人
講座・イベント	181回	3,411人

イ 有馬図書館

開館時間 9時から21時まで

休館日 毎月最終月曜日（祝日の場合には翌平日）、年末年始

(ア) 建物概要

構造 鉄筋コンクリート造

延床面積 2,321.04㎡（門沢橋コミュニティセンターと同一敷地）

開館 平成7年5月2日/リニューアル令和3年5月1日

(イ) 蔵書数・貸出者数・貸出冊数等（令和6年度）

項 目	実績等
蔵書数	113,285冊
貸出者数	34,850人
貸出冊数	126,432冊
レファレンス件数	79件

(ウ) イベント等

	回数	参加者数（延人数）
おはなし会	54回	547人
講座・イベント	65回	1,106人

ウ 市民図書室

北部地区の図書利用者の利便性確保のため、東柏ヶ谷小学校内に市民図書室を開室しています。

開館日 毎週土曜日、日曜日

開館時間 9時から17時まで

(2) 図書取次ネットワーク

市内の図書利用者の利便性確保のため、市内2か所に図書取次所を設置し、予約図書の取次及び返却業務を行っています。

名 称	所在地
海老名市障害者支援センターあきば内 「カフェはみんぐ」	海老名市上今泉六丁目11番20号
海老名市立国分寺台文化センター	海老名市国分寺台2丁目10番23号

(3) 学校図書館支援センター

市内小中学校19校に司書を週2回派遣し、図書室環境の整備、資料選書支援、授業支援など児童生徒の読書推進を実施しています。

5 学童保育クラブ

市内の学童保育クラブは、すべて民設民営となっていますが、近年の共働き世帯の増加などにより、利用者は年々増加傾向となっています。

そのため、市内の保育園・幼稚園に在籍する児童を対象とした学童保育クラブの利用希望アンケートなどを実施し、その結果を踏まえながら学童保育クラブの適正配置に努めています。

また、スクールライフサポートの認定者で、学童保育クラブを利用している保護者に対し、「学童保育クラブ利用者支援補助金」として保育料の補助を実施しています。

(1) 利用者数（令和7年4月1日現在） (人)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和5年度	483	466	396	323	250	182	2,100
令和6年度	511	469	428	336	261	185	2,190
令和7年度	606	503	424	366	254	191	2,344

(2) 事業所数（令和7年4月1日現在）

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業所数	61施設	67施設	71施設

(3) 学童保育クラブ利用者支援補助金

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度※
申請件数	200件	211件	220件
補助金額（決算額）	23,558千円	25,534千円	32,963千円

※令和7年度は予算額

6 ライフ・スタディサポート事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯に属する中学生に対し、学習習慣の確立・学習意欲の向上を目指して、日常的な生活習慣の定着や居場所づくり、進学に関する支援を実施しています。

令和6年度は、すでに実施していた北部地区（柏ヶ谷中学校区・今泉中学校区）、中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）、南部地区（有馬中学校区）に加え、令和6年7月から西部地区（海西中学校区、今泉中学校区）でも事業を開始し、全ての中学校区で受け入れが可能となりました。アンケート結果からも参加した生徒の学習意欲の向上や生活面での改善が図られています。

【利用実績】

	実施地区	利用者数	実施回数
令和4年度	北部地区	7人	68回
	中部地区	26人	208回
令和5年度	北部地区	15人	96回
	中部地区	26人	191回
	南部地区	10人	58回
令和6年度	北部地区	15人	90回
	中部地区	21人	164回
	南部地区	12人	87回
	西部地区	10人	108回

第5章 文化財

1 文化財関係施設

(令和7年4月1日時点)

(1) 海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」

所在地	海老名市国分南一丁目6番36号
登録年月日	令和5年8月7日(文部科学省告示第94号)
建築面積	250.16㎡(延床面積423.5㎡)
敷地面積	515.62㎡
建物構造	木造・鉄骨造2階建
開館時間	午前9時～午後5時15分
休館日	年末年始 ※臨時休館有
概要	大正7年に建築された海老名村役場庁舎を移築し、郷土資料館としたもので、考古資料と民具を中心に展示公開しています。令和5年度に国登録有形文化財に登録されました。
年間来館者数	8,500～14,000名



(2) 海老名市立歴史資料收藏館

所在地	海老名市河原口二丁目27番3号
建築面積	168.56㎡(延床面積333.42㎡)
敷地面積	1,475㎡
建物構造	鉄筋コンクリート2階建
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日、火曜日 年末年始
概要	海老名市をはじめ神奈川県内外の自治体史や各種参考資料の公開、市史編さんの過程等で寄贈された家文書の整理、一部公開、歴史的公文書の保存をしています。
年間来館者数	400～1,400名



(3) 文化財收藏庫

所在地	海老名市国分北二丁目7番46号
建築面積	167.24㎡(延床面積 317.99㎡)
敷地面積	443.02㎡
建物構造	軽量鉄骨造2階建て
收藏資料	相模国分寺跡、相模国分尼寺跡、本郷遺跡、本郷中谷津遺跡、大谷向原遺跡、杉久保遺跡、杉久保内藤原横穴墓群、国分尼寺北方遺跡、秋葉山古墳群、市域における遺跡からの出土品・写真・図面などを收藏しています。

(4) 史跡相模国分寺跡

所在地	海老名市国分南一丁目1925番2ほか
指定年月日	大正10年3月3日(内務省告示第38号)
指定面積	34,841.73m ²
整備状況	塔基壇復原整備、中門跡・僧房跡・南面廊跡・北方建物跡・伽藍地区画溝の表示整備、植栽、遺構説明板の設置など。
概要	天平13(741)年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分寺の1つです。法隆寺式伽藍配置という他の国分寺にはあまりみられない建物配置であることが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(5) 史跡相模国分尼寺跡

所在地	海老名市国分北二丁目3220番ほか
指定年月日	平成9年4月3日(文部省告示第59号) 平成14年3月19日(文部科学省告示第43号)追加 平成20年3月28日(文部科学省告示第40号)追加
指定面積	7,157.81m ²
整備状況	公有地部分を整地。
概要	天平13(741)年の「国分寺建立の詔」によって全国に建立された国分尼寺の1つです。全国的にみて国分尼寺跡が確認されているところが少なく、また、金堂跡等の保存状態が良好であることなどが評価されて国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放



(6) 史跡秋葉山古墳群

所在地	海老名市上今泉四丁目809番1ほか
指定年月日	平成17年7月14日(文部科学省告示第101号)
指定面積	12,365.07 m ²
概要	平成9年度から平成15年度までの発掘調査によって、弥生時代終末から古墳時代前期前半にかけて継続的に築造された古墳群であることが分かりました。保存状態が良好であり、古墳文化の受容と古墳形態・祭祀の変化が確認できることが評価され国指定史跡となりました。
利用案内	常時開放

(7) 今福薬医門公園（旧今福家住宅）

所在地	海老名市中新田一丁目1495番5
登録年月日	平成30年11月2日（文部科学省告示第214号）
面積	1,400.38㎡
開園日	平成20年1月
施設	文庫蔵1棟（江戸末期） 表門（江戸末期）及び塀、裏門
概要	平成16年5月に市に寄贈された江戸時代末期の表門（薬医門）と文庫蔵、敷地などを活用して開園した公園です。園内には、近年あまり見かけることがなくなった屋敷林（樹種は50種類以上）や貴重な野草・植物が群生しています。平成30年に旧今福家住宅文書蔵・表門及び塀・裏門が国指定登録有形文化財に登録されました。
利用案内	開園時間：午前10時～16時30分 休園日：12月27日～1月4日



(8) 上浜田6号墳

所在地	海老名市国分南三丁目1043番27
面積	29.06㎡
概要	上浜田古墳群を構成する古墳の1つで、4世紀頃に築造された1辺約22mの方墳であったと推定されています。道路整備や宅地開発などにより周辺が削られてしまっているが、わずかに残った墳丘部分を保存しています。

(9) 海老名氏記念碑

所在地	海老名市河原口字屋島856番1
敷地面積	20.035㎡
概要	「海老名氏」は、平安時代末期から室町時代にかけて海老名を本拠地とした武士の一族で、河原口に居館を構えていたと伝えられ、河原口や上郷からは中世の板碑が出土することや鎌倉幕府に仕えた海老名季定（季貞とも）の供養碑と伝わる石塔等（海老名氏霊堂）もあります。このことから昭和46年12月26日に当時の海老名市文化財保護委員の撰文による『海老名氏記念碑』を建立して、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時開放

(10) 海老名の大櫨

所在地	海老名市国分南一丁目1150番先
指定年月日	昭和29年3月30日（県指定天然記念物）
概要	推定樹齢570年以上。 大山道に面した、国分寺の参道入口にあり、この付近が入り江になっていた頃に漁師が船をつなぐために逆さに打ち込んだケヤキの杭が根付いたとの伝承があります。
利用案内	常時公開



(11) 有馬のはるにれ（通称：なんじゃもんじゃ）

所在地	海老名市本郷3881番地
指定年月日	昭和29年7月27日（県指定天然記念物）
概要	推定樹齢300年以上。 江戸時代の医師、半井驢庵の下屋敷に植えられていたと伝えられています。当時、ハルニレは大変珍しい木であったため、木の名前を知る者もなく、「なんじゃもんじゃの木」と呼ばれたと云われています。
利用案内	常時公開



(12) 浅井の水（井）

所在地	海老名市国分北一丁目2951番16
敷地面積	61.36㎡
概要	小谷戸にある湧水で、永池川の源流とされます。清水寺（龍峰寺）縁起にある湧き水とされ、湧き水の中央には石造物（宇賀神）があります。近隣の家では水道が敷設されるまで、生活用水として利用していました。平成27年に土地の寄贈を受け、永く後世に伝えることにしました。
利用案内	常時公開

(13) 三日月井戸・独鈷（どうこ・どっこ）井戸

所在地	三日月井戸：海老名市上今泉四丁目841番1の一部 独鈷井戸：海老名市上今泉四丁目847番4の一部
登録年月日	令和6年4月23日（市登録史跡）
面積	三日月井戸：14.40㎡ 独鈷井戸：24.79㎡
概要	常泉院の境内脇にあり、水道が敷かれるまで寺院や近所の人の生活用水として使われていました。市内に現存する貴重な湧水であり、海老名の歴史や文化を理解する上で貴重な史跡であることから市登録史跡として登録されました。
利用案内	常時開放

2 文化財の保護

(令和6年度実績)

市内にある文化財は数多く、史跡、建築物、樹木、有形及び無形の文化財に分類されますが、わが国の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない国民固有の財産であり、将来の発展の基礎をなすものです。

したがって、史跡や文化財を次世代に継承していくために適切に保存する必要があります。

(1) 文化財保護事業

ア 市指定重要文化財などへの助成支援等

市指定重要文化財補助金(有形文化財20件・無形民俗文化財1件)
はやし保存連絡協議会への補助金

イ 史跡等の維持管理

史跡相模国分寺跡・史跡相模国分尼寺跡・史跡秋葉山古墳群・今福薬医門・浅井の水等の草刈、樹木剪定／海老名の大櫓・有馬のはるにれ維持管理／秋葉山古墳群の枯損木伐採／相模国分寺跡の手すり設置など

ウ 文化財保護審議会の開催

- 第1回 海老名市文化財保護審議会 R6.12.17
郷土芸能「海老名の囃子」調査状況について、相模国分寺跡活用計画について ほか
- 第1回 相模国分寺跡保存活用部会 R6.12.23
相模国分寺跡活用計画構成と内容、検討事項について ほか
- 第2回 相模国分寺跡保存活用部会 R7.2.27
第1回会議検討事項に係る対応について ほか
伽藍東側地区現地確認・意見交換

エ 文化財調査

無形民俗文化財(お囃子)、仏像彫刻

(2) 埋蔵文化財調査事業

ア 開発工事等の前の試掘等調査(17件)

(望地遺跡、逆川跡、大谷下浜田遺跡、
国分尼寺北方遺跡、大谷向原遺跡、
中野桜野遺跡、国分宿遺跡、上の台遺
跡、御屋敷遺跡、本郷中谷津遺跡)

イ 個人住宅建築に伴う発掘調査(2件)

(大谷市場遺跡、国分宿遺跡)

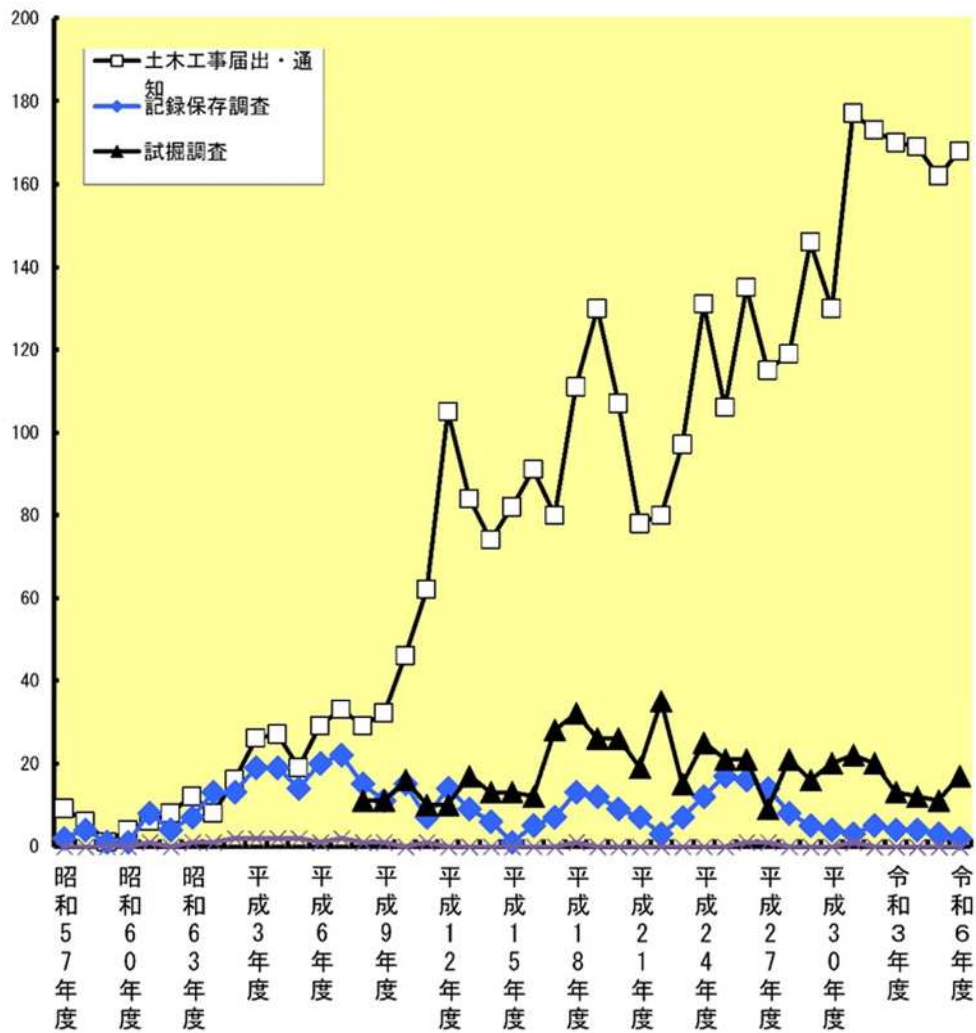
ウ 発掘調査報告書刊行業務

『太鼓塚古墳(上浜田第5号墳
発掘調査報告書』刊行



大谷市場遺跡
溝状遺構発掘調査状況

海老名市内における埋蔵文化財に関する届出等件数の推移



(3) 相模国分寺跡整備事業

ア 史跡相模国分寺跡遊歩道整備

- ・ 史跡相模国分寺跡北側買収地安全施設設置工事
海老名市国分南一丁目1895番2
安全施設設置（車止設置）、目隠し用シート設置
- ・ 史跡相模国分寺跡遊歩道工事
海老名市国分南一丁目1895-1、1895-2
案内板併用柵設置

イ 史跡相模国分寺跡用地測量委託

- ・ 史跡地管理のための借地範囲測量

3 文化財の活用

保存した文化財に広く市民が親しむために、市民関係者の意見提言を取り入れて歴史文化の学習や憩いの場づくりを進め、地域のまちづくり、商業や観光にも活用できるように整備することが重要な課題となっています。

(1) 温故館維持管理

令和6年度 開館日数 352日 来館者数 13,369名

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入館者数	9,190	14,040	13,369

ア 企画展「発掘された海老名のお宝 ～この10年の発掘調査成果から～」

開催期間 第一弾：R6. 7. 5～R6. 9. 16

第二弾：R6. 9. 13～R6. 12. 1

期間中来館者 第一弾：2,376名

第二弾：3,216名

合計：5,592名

平成25年から令和5年の間に市内で行われた発掘調査について、遺跡と遺物を紹介しました。



温故館企画展展示の様子

イ ミニ展示「龍峰寺千手観音像のひみつ ～国指定100周年記念～」

開催期間 R6. 3. 14～R6. 5. 11

期間中来館者 2,947名

龍峰寺千手観音立像は、国宝に指定から100周年を迎えたことを記念し、千手観音立像を紹介するパネルを展示しました。

ウ 温故館たてもの見学会

R6. 11. 2、11. 3 リーフレット作成

参加者 18名

エ 展示資料貸出

神奈川県教育委員会、福祉政策課

オ 維持管理ほか

建物清掃、警備、空調修理、エレベーターバッテリー交換修理、ロールスクリーン修理、雨漏り修理、窓ガラス修理

カ 寄贈資料

ツノダル、ハンダイ、石皿、敲石

(2) 歴史資料収蔵館維持管理

令和6年度 開館日数 254日 来館者 320名 資料閲覧者 185名

閲覧数 825件

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入館者数	284	307	320

ア ミニ収蔵品展

・「江戸後期から明治期の双六」

展示期間 R6. 4. 25～R6. 6. 30

収蔵資料の江戸後期から明治期の双六について
展示公開しました。

・「国芳・芳虎が描いた鎌倉武士ー浮世絵・版本からー」

展示期間 前期：（頼朝編）R6. 10. 25～R6. 12. 27

後期：（義経編）R7. 1. 4～R7. 3. 2

所蔵資料の浮世絵師歌川国芳・芳虎が描いた鎌倉武士の
浮世絵ほか、武勇に秀でた武将を紹介した版本を展示公
開しました。



収蔵品展の様子

イ デジタル展示

上記ミニ収蔵展についてはデジタルでも資料を公開しました。

ウ 寄贈資料

書籍、軍事郵便ほか

エ 維持管理

建物清掃、警備、水道メーター交換修理

オ 資料整理

清水家資料、切図（旧公図）写真など

（3）文化財活用事業

ア えびな文化財探求舎体験講座

① 石器づくり 7月30日 参加者18名

② 勾玉・瓦づくり 7月31日、8月1日 参加者88名

イ 相模国分寺跡復元アプリ「相模国分寺360」の活用

ウ 相模国分寺跡あそびのひろば

4、5、10、11、12、3月の6回開催

（9月は雨天中止）

相模国分寺跡 参加者約300～500名

その他平日に不定期開催

エ 「わが街の推し遺跡!!～聞いて！みて!!こんなにすんごい私たちの街の歴史～」 推し遺跡パネル展 共催

開催期間 R6. 11. 6～R6. 11. 18 ※11. 12休館

期間中来館者

主催 （公財）かながわ考古学財団

共催 海老名市教育委員会、ロマンスカーミュージアム、小田原市教育委員
会、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

ロマンスカーミュージアムにて県内19遺跡の紹介パネル、海老名市ほか6市
の出土品ミニ展示を行いました。

オ 発掘調査現地見学会

「国分宿遺跡・相模国分寺跡第28次調査見学会」

R6. 11. 16

参加者244名

協力 パスコ株式会社、住友林業株式会社



見学会の様子

カ 文化財案内板等整備

三日月井戸、独鈷井戸案内板設置、
海源寺鐘楼門案内板板面貼替、海老名氏霊堂案内板設置

キ 文化財ガイド

-海老名の近世-

- ・「目久尻川沿いの国分村」

R6. 6. 1 参加者36名

- ・「相模川沿いの門沢橋村と中野村」

R6. 10. 6 参加者 29名

- ・「永池川沿いの本郷村」

R6. 12. 7 参加者 20名

- ・「目久尻川沿いの柏ヶ谷村」

R7. 3. 30 参加者 23名



文化財ガイドの様子

ク 郷土芸能の公開

R7. 1. 26 新春はやし叩き初め大会

来場約600名

R6. 12. 18 ささら踊りの出前事業(杉本小学校)

R6. 7. 24 相模ささら踊り大会出演

(厚木市荻野運動公園)



新春はやし叩き初め大会の様子

ケ その他

文化財ガイド養成講座（海老名ガイド協会と共催）

4 指定・登録文化財等一覧

(令和7年4月1日時点)

国指定

●重要文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	国分寺・銅鐘	国分南一丁目25番38号	大正12年8月4日	鎌倉
2	龍峰寺・木造千手観音立像	国分北二丁目13番40号	大正14年4月24日	平安～鎌倉

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	相模国分寺跡	国分南一丁目1925番2ほか	大正10年3月3日	奈良～平安
2	相模国分尼寺跡	国分北二丁目3220番ほか	大正9年4月3日 大正14年3月19日 追加 大正20年3月28日 追加	奈良～平安
3	秋葉山古墳群	上今泉四丁目841番101	平成17年7月14日	古墳

国登録

●登録有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	旧今福家住宅文庫蔵	中新田一丁目1495-5	平成30年11月2日	江戸
2	旧今福家表門及び塀	中新田一丁目1495-1	平成30年11月2日	江戸
3	旧今福家住宅裏門	中新田一丁目1495-1	平成30年11月2日	大正
4	嶋崎家住宅主屋	上郷一丁目224-2ほか	令和3年10月14日	明治後期
5	嶋崎家住宅離れ	上郷一丁目224-2ほか	令和3年10月14日	昭和3年
6	海老名市温故館(旧海老名村役場)	国分南一丁目6番33号	令和3年10月14日	大正7年

県指定

●重要文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	海老名市上浜田遺跡出土埴輪(6点)	神奈川県教育委員会蔵	平成13年2月13日	縄文

●無形民俗文化

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	相模のささら踊り	—	平成20年2月5日	—

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	上浜田中世建築遺構群	浜田町5番13号	昭和56年2月10日	鎌倉～室町

●天然記念物

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	海老名の大櫓	国分南一丁目23	昭和29年3月30日	—
2	有馬のはるにれ	本郷3881番地	昭和29年7月27日	—

市指定重要文化財

●重要有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	正覺寺・十一面観世音菩薩像	門沢橋四丁目13番13号	昭和49年4月23日	江戸
2	海源寺・大島豊後守正時坐像	中新田一丁目1番22号	昭和49年4月23日	江戸
3	豊受大神・絵馬3面	杉久保北二丁目22番1号	昭和49年4月23日	江戸
4	龍峰寺・観音堂(旧清水寺本堂)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
5	龍峰寺・仁王門(旧清水寺)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
6	龍峰寺・仁王像(旧清水寺)	国分北二丁目13番40号	昭和50年3月19日	江戸
8	本覺寺・大日如来坐像	本郷4618番地	昭和52年10月12日	江戸
9	東林寺・大日如来坐像	今里三丁目10番7号	昭和52年10月12日	江戸
10	寿閑寺・脇侍二菩薩像(普賢菩薩像、文殊菩薩像)	本郷3453番地	昭和52年10月12日	江戸
11	龍峰寺・絵馬(歌川国経筆)	国分北二丁目13番40号	昭和52年10月12日	江戸
12	有鹿神社・本殿	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日	江戸
13	有鹿神社拝殿天井龍の絵図(藤原隆秀筆)	上郷一丁目4番41号	平成4年10月1日	江戸
14	常念寺(現在廃寺)石造宝篋印塔 常念寺(現在廃寺)石灯籠	本郷3068番地	平成5年4月1日	江戸
15	海源寺・鐘楼門	中新田一丁目1番22号	平成6年10月20日	江戸
16	八坂神社・本殿	勝瀬9番1号	平成10年8月28日	江戸
19	渋谷神社・本殿	門沢橋四丁目11番14号	平成15年4月30日	江戸
20	中野八幡宮・本殿	中野一丁目1番1号	平成16年5月18日	江戸
21	浄久寺・長谷川家石宝篋印塔群	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日	江戸
22	浄久寺・木造阿弥陀如来坐像	門沢橋四丁目11番1号	平成17年5月18日	平安

●重要有形民俗文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
7	大谷歌舞伎(素人歌舞伎)	—	昭和50年3月19日	—

●史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
17	瓢箪塚古墳	国分南三丁目1055番	平成10年8月28日	古墳

●天然記念物

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
18	椿地蔵の椿	杉久保南四丁目2621番2	平成10年8月28日	江戸

市登録文化財

●登録有形文化財

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	高札(門沢橋村)	門沢橋四丁目13番13号(宗教法人正覚寺)	令和4年11月24日	江戸
2	高札(国分村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	江戸
3	高札(中新田村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	江戸
4	高札(中新田村 4点)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	慶応4年
5	高札(中新田村)	河原口二丁目27番3号(市立歴史資料収蔵館)	令和4年11月24日	明治

●登録史跡

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
6	三日月井戸	上今泉四丁目841番1の一部	令和6年4月23日	室町時代～昭和30年代
7	独鈷井戸	上今泉四丁目847番4の一部	令和6年4月23日	室町時代～昭和30年代

教育委員会指定郷土芸能※条例根拠なし

No.	名称	所在地	指定年月日	時代
1	国分囃子保存会	—	昭和52年10月12日	—
2	柏ヶ谷囃子保存会	—	昭和52年10月12日	—



資料

1 歴代教育委員・教育長

(1) 歴代教育委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
飯 田 一 寿	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年 7 月19日	昭和28年12月 1 日 ～昭和29年10月22日	
井 上 良	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年 7 月19日	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年11月30日	
小 林 又 一	昭和27年11月 1 日 ～昭和30年10月19日		
山 口 重	昭和27年11月 1 日 ～昭和31年 8 月29日	昭和29年10月22日 ～昭和30年 7 月19日 ----- 昭和30年 9 月 6 日 ～昭和30年10月19日	
平 井 浩	昭和27年11月 1 日 ～昭和29年 2 月 2 日		議員委員
坂 田 勇 雄	昭和29年 2 月 3 日 ～昭和30年 7 月19日		議員委員
石 井 伴 七	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日		議員委員
蛭 川 喜代司	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日		旧有馬村より
濱 田 宗 直	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年10月19日	昭和30年 7 月20日 ～昭和30年 9 月 5 日	旧有馬村より
望 月 珪 治	昭和30年10月20日 ～昭和34年 9 月30日	昭和30年10月20日 ～昭和34年 9 月30日	
井 上 徳 司	昭和30年10月20日 ～昭和31年 9 月30日		議員委員
副 島 大 介	昭和30年10月20日 ～昭和35年 9 月30日	昭和34年12月 1 日 ～昭和35年 9 月30日	
柳 田 利 治	昭和30年10月20日 ～昭和37年 9 月30日	昭和36年12月14日 ～昭和37年 9 月30日	
岡 部 正 巳	昭和31年10月 1 日 ～昭和36年 9 月30日	昭和35年10月 1 日 ～昭和36年 9 月30日	
石 渡 八重治	昭和34年12月 1 日 ～昭和42年11月30日	昭和37年10月 1 日 ～昭和42年11月30日	
青 木 吉 郎	昭和35年10月 1 日 ～昭和39年 4 月30日		
挽 野 喜 博	昭和36年12月13日 ～昭和44年12月12日	昭和43年 1 月 9 日 ～昭和44年12月12日	
古 郡 善 三	昭和37年10月 1 日 ～昭和41年 9 月30日		
宮 台 鎮 雄	昭和39年10月 1 日 ～昭和43年 9 月30日		
小 沢 庫 吉	昭和41年10月 1 日 ～昭和49年 9 月30日	昭和44年12月13日 ～昭和45年 9 月30日 ----- 昭和45年10月12日 ～昭和46年10月11日	
山 中 叡 岳	昭和43年 1 月 9 日 ～昭和55年 1 月15日	昭和46年10月12日 ～昭和50年10月 7 日	
小 泉 操	昭和43年10月 1 日 ～昭和47年 9 月30日		
池 田 武 治	昭和44年12月13日 ～昭和46年 9 月30日		

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
森 下 一 郎	昭和46年10月20日 ～昭和52年12月12日	昭和51年10月22日 ～昭和52年10月21日	
中 野 博	昭和47年10月 1 日 ～昭和55年 9 月30日		
吉 川 欣	昭和49年10月 1 日 ～昭和57年 9 月30日	昭和52年10月22日 ～昭和55年10月21日	
斎 藤 善 一	昭和52年12月13日 ～昭和60年12月12日	昭和55年10月22日 ～昭和56年12月12日 昭和56年12月17日 ～昭和57年12月16日	
岩 壁 憲 男	昭和55年 1 月16日 ～平成 4 年 1 月29日	昭和57年12月17日 ～昭和61年 1 月15日	
赤 井 孝 一	昭和55年10月 1 日 ～平成16年 9 月30日	平成 3 年10月 1 日 ～平成 4 年 9 月30日 平成 7 年10月 3 日 ～平成 8 年 9 月30日 平成 9 年 4 月 1 日 ～平成10年 3 月31日 平成15年12月13日 ～平成16年 9 月30日	
濱 田 二 郎	昭和57年10月 1 日 ～平成 6 年 9 月30日	昭和61年 1 月16日 ～平成 3 年 9 月30日 平成 5 年10月 1 日 ～平成 6 年 9 月30日	
植 木 利 光	昭和60年12月13日 ～昭和62年 6 月 1 日		依願退任
豊 田 雄 三	昭和62年 6 月 2 日 ～平成17年12月12日	平成 4 年10月 1 日 ～平成 5 年 9 月30日 平成 6 年10月 3 日 ～平成 7 年10月 2 日 平成12年10月 1 日 ～平成15年12月12日	
高 橋 哲 也	平成 4 年 1 月30日 ～平成 8 年12月26日	平成 8 年10月 1 日 ～平成 8 年12月26日	死亡退任
恩 馬 菊 枝	平成 6 年10月 1 日 ～平成14年 9 月30日	平成10年 4 月 1 日 ～平成12年 9 月30日	
大 島 正 儀	平成 9 年 4 月 1 日 ～平成19年 7 月30日	平成16年10月 1 日 ～平成19年 7 月30日	死亡退任
加 藤 沙彌子	平成14年10月 1 日 ～平成20年 9 月30日	平成20年 2 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	依願退任
中 垣 克 久	平成16年12月22日 ～平成20年12月21日	平成20年10月 1 日 ～平成20年12月21日	公募 (H16. 12. 22)
田 中 裕 子	平成17年12月13日 ～平成25年12月12日	平成20年12月22日 ～平成21年12月12日	公募(H17. 12. 13)
		平成21年12月13日 ～平成22年12月12日	公募(H21. 12. 13)
		平成22年12月13日 ～平成23年12月12日	
松 樹 俊 弘	平成20年 2 月 1 日 ～令和 2 年 1 月31日		

氏 名	教育委員の期間	教育委員長の期間	備 考
海 野 恵 子	平成20年10月 1 日 ～令和 3 年 9 月 30 日	平成24年12月22日 ～平成26年 9 月 30 日	前任者の残任期間
		平成26年10月 1 日 ～平成27年 3 月 31 日	依願退任
難 波 淳 一	平成20年12月22日 ～平成24年12月21日	平成23年12月13日 ～平成24年12月21日	公募(H20. 12. 22)
平 井 照 江	平成24年12月14日 ～令和 6 年12月13日		
岡 部 二九雄	平成25年12月13日 ～平成29年12月12日		公募(H25. 12. 13)
酒 井 道 子	平成29年12月13日 ～令和 5 年 3 月 31 日		公募(H29. 12. 13) 依願退任
濱 田 望	令和 2 年 2 月 1 日 ～令和10年 1 月 31 日		在任中
武 井 哲 也	令和 3 年10月 1 日 ～令和 8 年 9 月 30 日		在任中
海 野 望	令和 5 年 4 月 1 日 ～令和 7 年12月12日		在任中
藤 吉 ひとみ	令和 6 年12月14日 ～令和10年12月13日		在任中

(2) 歴代教育長

氏 名	教育委員の期間	教育長の期間	備 考
今 福 祥	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年 3 月 31 日	昭和27年11月 1 日 ～昭和28年 3 月 31 日	
塩 脇 文	昭和28年 4 月 1 日 ～昭和34年 7 月 31 日	昭和28年 4 月 1 日 ～昭和34年 7 月 31 日	
山 本 寛 次	昭和34年 9 月11日 ～昭和43年 2 月12日	昭和34年 9 月11日 ～昭和43年 2 月12日	
市 川 治 満	昭和43年 2 月13日 ～昭和51年 4 月18日	昭和43年 2 月13日 ～昭和51年 4 月18日	
高 柳 舜	昭和51年 5 月17日 ～昭和63年 9 月30日	昭和51年 5 月17日 ～昭和63年 9 月30日	
亀 井 英 一	昭和63年10月 1 日 ～平成 7 年12月 1 日	昭和63年10月 1 日 ～平成 7 年12月 1 日	
牛 村 忠 雄	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	平成 8 年 4 月 1 日 ～平成20年 9 月30日	
沖 原 次 久	平成20年10月 1 日 ～平成24年 9 月30日	平成20年10月 1 日 ～平成24年 9 月30日	
瀬 戸 清 規	平成24年12月22日 ～平成25年 8 月 9 日	平成24年12月22日 ～平成25年 8 月 9 日	平成25年 8 月 9 日辞職
伊 藤 文 康	平成25年10月17日 ～平成27年 3 月31日	平成25年10月17日 ～平成27年 3 月31日	前任者の残任期間 平成27年 3 月31日辞職
	—	平成27年 4 月 1 日 ～令和 9 年 3 月31日	改正地教行法による 新教育長

2 附属機関名簿

(令和7年4月1日時点)

(1) 海老名市文化財保護審議会

役職名	氏名	所属等
委員	浜 田 弘 明	桜美林大学教授
	片 山 兵 衛	長春師範大学客員教授 元神奈川県立高等学校教諭、元海老名市社会教育指導員
	山 本 勉	清泉女子大学名誉教授、鎌倉国宝館館長、半蔵門ミュージアム館長、東京国立博物館名誉館員
	井 上 泰	相模原市立公文書館職員
	海老澤 模奈人	東京工芸大学教授
	青 木 敬	國學院大學文学部教授
	高 久 舞	帝京大学 文学部日本文化科学 講師 國學院大學 文学部日本文学科 兼任講師
専門委員	加 藤 仁 美	元海老名市景観審議会委員
	長 澤 可 也	湘南工科大学工学部名誉教授
	鹿 野 陽 子	岐阜県立国際園芸アカデミー客員教授

(2) 海老名市奨学生選考委員会

役職名	氏名	所属等
委員	平 井 敦 子	民生委員児童委員
	和 田 波 代	上星小学校長
	梶 山 博 考	海老名中学校長
	久保谷 由美子	有馬中学校長
	遠 藤 一 義	海西中学校長
	小 宮 洋 子	柏ヶ谷中学校長
	小 林 丈 記	大谷中学校長
	山 川 勇	今泉中学校長
	藤 原 敬 子	神奈川県立有馬高等学校長

(3) 海老名市立学校学校運営協議会

ア 海老名小学校

役職	氏名	所属等
委員	小田島 恵 子	学校運営に資する活動を行う者
	赤 塚 誠	学校運営に資する活動を行う者
	三 部 昭 一	地域住民
	中 川 咲 子	保護者
	梶 山 博 考	学識経験者
	檀浦 かおり	校長
	楠 祐 子	教頭
	風 間 大 輔	教職員

イ 柏ヶ谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	山 崎 久 男	学識経験者
	大 矢 和 正	地域住民
	秋 本 博 久	地域住民
	森 田 博 明	地域住民
	増 田 芳 夫	地域住民
	羽 太 勇	地域住民
	松 本 孝 夫	地域住民
	齊 藤 裕 子	学校運営に資する活動を行う者
	萩 原 正 規	保護者
	鈴 木 佳 子	学校運営に資する活動を行う者
	小 林 麻 衣	保護者
	藤 原 絵里奈	学校運営に資する活動を行う者
	石 井 友 紀	校長
	高 橋 一 子	教頭
	青 山 明 裕	教職員

ウ 有鹿小学校

役職	氏名	所属等
委員	碓 井 雅 巳	学識経験者
	鍵 渡 正 徳	学識経験者
	越 智 正 則	地域住民
	北 川 八重子	学校運営に資する活動を行う者
	大久保 敏	地域住民
	田 中 由美野	学校運営に資する活動を行う者
	伊 藤 恵美子	学校運営に資する活動を行う者
	新 井 悦 子	学校運営に資する活動を行う者
	池 澤 誠 也	地域住民
	姫 野 珠 実	校長
	土 谷 政 巳	教頭
	宮 下 翔 太	教職員

エ 有馬小学校

役職	氏名	所属等
委員	山 口 慎 二	地域住民
	二 見 隆 江	学校運営に資する活動を行う者
	小 松 明	地域住民
	村 山 紀 行	地域住民
	奥 谷 婦貴子	地域住民
	小 林 里 実	保護者
	北 村 真 理	学識経験者
	住 田 晶 子	校長
	内 山 大 輔	教頭
	片 岡 香 子	教職員

オ 大谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	石 井 正 雄	学校運営に資する活動を行う者
	藤 澤 ゆかり	学校運営に資する活動を行う者
	今別府 淳 子	学校運営に資する活動を行う者
	桐 生 行 雄	学校運営に資する活動を行う者
	吹 越 真佐美	地域住民
	鈴 木 竜 也	保護者
	ホーランド 佳奈	地域住民
	島 仲 京 子	校長
	岩 上 克 成	教頭
	岩 瀬 歩	教職員

カ 上星小学校

役職	氏名	所属等
委員	栗 山 明 郎	学校運営に資する活動を行う者
	樋 口 るり子	学校運営に資する活動を行う者
	仲 村 ひとみ	学校運営に資する活動を行う者
	小 島 洋 人	保護者
	渡 部 洋 子	その他（学童クラブ職員）
	和 田 波 代	校長
	三 村 早 織	教頭
	石 川 雄一郎	教職員
	金 子 充	教職員

キ 中新田小学校

役職	氏名	所属等
委員	笠 原 祐 治	学校運営に資する活動を行う者
	鍵 渡 香代子	学識経験者
	渡 邊 富二夫	地域住民
	七 海 勝 浩	学識経験者
	林 麻佐美	学識経験者
	安 藤 信 貴	学識経験者
	大 山 圭 三	保護者
	西 澤 弘 毅	地域住民
	久保田 祐 子	学校運営に資する活動を行う者
	打 野 公 一	校長
	宮 基 理 恵	教頭
	片 岡 桂 太	教職員

ク 門沢橋小学校

役職	氏名	所属等
委員	牛 村 忠 雄	学識経験者
	武 井 勝 男	地域住民
	清 水 文 生	地域住民
	大 島 千 佳	学校運営に資する活動を行う者
	米 山 恵	学識経験者
	望 月 博 史	保護者
	仲 谷 幸 子	地域住民
	大河原 俊 一	地域住民
	大 澤 康 男	地域住民
	市 川 由 一	地域住民
	境 景 子	校長
	中 村 昌 善	教頭
	日 野 玄 隆	教職員

ケ 東柏ケ谷小学校

役職	氏名	所属等
委員	増 田 英 樹	地域住民
	芳 賀 敬 子	学校運営に資する活動を行う者
	橋 本 絵美里	学校運営に資する活動を行う者
	植 木 由美子	学校運営に資する活動を行う者
	海 野 望	保護者
	佐 藤 充 明	保護者
	二 見 吉 男	地域住民
	柳 下 泰 介	地域住民
	長 井 徹	地域住民
	逢 地 和 孝	地域住民
	瀬戸口 壮	学校運営に資する活動を行う者
	工 藤 真	学校運営に資する活動を行う者
	青 山 広 文	地域住民
	守 谷 美 子	学校運営に資する活動を行う者
	高 橋 典 嗣	学識経験者
	小 池 一 美	学校運営に資する活動を行う者
	奥 田 五 成	校長

コ 社家小学校

役職	氏名	所属等
委員	津々木 美 幸	学校運営に資する活動を行う者
	三 田 英 樹	学校運営に資する活動を行う者
	大 乗 文 孝	学識経験者
	佐々木 宏 文	学校運営に資する活動を行う者
	春日井 美 穂	学校運営に資する活動を行う者
	米 山 恵	学識経験者
	曾 我 幸 治	地域住民
	金 子 幸 枝	地域住民
	水 島 孝 一	地域住民
	小 澤 智 樹	地域住民
	上 田 千 春	保護者
	浅 井 大 輔	校長
	尾 崎 由 美	教頭
	大 部 信 介	教職員

サ 杉久保小学校

役職	氏名	所属等
委員	伊 藤 健 三	学識経験者
	岩 崎 佐容子	学校運営に資する活動を行う者
	山 本 敏 昭	保護者
	高 橋 宙 希	保護者
	金 子 由美子	地域住民
	佐 藤 憲 一	地域住民
	山 室 修 次	学識経験者
	坂 野 千 幸	校長
	坂 田 美 帆	教頭
	山 田 優	教職員
	東 優 也	教職員

シ 今泉小学校

役職	氏名	所属等
委員	和 泉 雅 幸	学識経験者
	中 野 隆 則	学校運営に資する活動を行う者
	守 屋 佐千子	学校運営に資する活動を行う者
	木 島 智恵美	学校運営に資する活動を行う者
	築 地 澄	保護者
	和 田 修 二	校長
	中 島 忠 相	教頭
	金 指 太一郎	教職員

ス 杉本小学校

役職	氏名	所属等
委員	瀧 澤 美穂子	学校運営に資する活動を行う者
	藤 吉 ひとみ	学校運営に資する活動を行う者
	河 村 治	学校運営に資する活動を行う者
	鈴 木 亜 矢	学校運営に資する活動を行う者
	及 川 普 二	学校運営に資する活動を行う者
	田地川 俊 行	学校運営に資する活動を行う者
	高 橋 裕 之	地域住民
	坂 本 真 一	保護者
	奥 泉 憲	校長
	前 田 潤 子	教頭
	鈴 木 幹 央	教職員

セ 海老名中学校

役職	氏名	所属等
委員	今 井 健一郎	学識経験者
	松 島 希	その他（学童クラブ職員）
	七 海 勝 浩	学識経験者
	檀 浦 かおり	学識経験者
	奥 泉 憲	学識経験者
	小田島 恵 子	地域住民
	大 島 直 子	学識経験者
	吉 野 卓	保護者
	梶 山 博 考	校長
	河 野 洋	教頭
	小 坂 浩 久	教職員

ソ 有馬中学校

役職	氏名	所属等
委員	木 村 和 雄	学識経験者
	橋 本 瑞 貴	保護者
	塩 井 俊 勝	地域住民
	芝 善 孝	地域住民
	森 下 賢 人	地域住民
	三 田 英 樹	地域住民
	武 井 哲 也	地域住民
	米 山 恵	学識経験者
	大 島 千 佳	学校運営に資する活動を行う者
	宮 台 功	地域住民
	久保谷 由美子	校長
	山 口 篤	教頭
	石 田 裕	教職員

タ 海西中学校

役職	氏名	所属等
委員	内 藤 奈美恵	地域住民
	鍵 渡 香代子	学識経験者
	加 来 功	学識経験者
	吉 垣 知 子	学識経験者
	山 本 典 男	学識経験者
	遠 藤 一 義	校長
	清 水 匠	教頭
	盛 智 史	教職員

チ 柏ヶ谷中学校

役職	氏名	所属等
委員	野 中 幹 子	学識経験者
	飛矢崎 義 基	学識経験者
	澁 谷 清 美	学校運営に資する活動を行う者
	橋 本 絵美里	地域住民
	森 山 輝 男	地域住民
	二 見 吉 男	地域住民
	稲 葉 常 春	地域住民
	海 野 望	保護者
	大 貫 直 子	保護者
	小 宮 洋 子	校長

ツ 大谷中学校

役職	氏名	所属等
委員	熊 澤 美恵子	学識経験者
	秋 庭 博 行	学識経験者
	吹 越 真佐美	地域住民
	岩 崎 佐容子	地域住民
	吉 田 守	地域住民
	大 塚 真 樹	地域住民
	石 井 正 雄	地域住民
	雅樂川 知 子	保護者
	鈴 木 剛	保護者
	小 林 丈 記	校長
	大 矢 貴 史	教頭

テ 今泉中学校

役職	氏名	所属等
委員	栗 山 明 郎	学校運営に資する活動を行う者
	樋 口 るり子	学校運営に資する活動を行う者
	碓 井 雅 巳	学識経験者
	宮 下 良 雄	地域住民
	平 井 千恵子	地域住民
	金 田 ゆかり	保護者
	岩 崎 恵	保護者
	山 川 勇	校長
	中 川 木 拳	教頭
	清 水 麻 子	教職員

(4) 海老名市教育支援センター運営協議会

役職	氏名	所属等
委員	久 保 香菜子	海老名警察署生活安全課長
	藤 原 敬 子	神奈川県立有馬高等学校長
	小 林 丈 記	大谷中学校長
	浅 井 大 輔	社家小学校長
	年 縄 宏	保護司会代表
	和 田 弘 文	民生委員児童委員代表
	小 川 淳 子	厚木児童相談所子ども支援第2課長
	藤 本 理 恵	子育て相談課長
	真 部 哲 治	海老名市医師会
	山 田 佳 子	わかば学園長
	芳 川 玲 子	東海大学教授

(5) 海老名市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿

役職	氏名	所属等
委員	久 保 香菜子	海老名警察署生活安全課長
	梶 山 博 考	中学校長代表
	浅 井 大 輔	小学校長代表
	大 畠 美 幸	厚木児童相談所児童福祉士
	秋 庭 博 行	海老名市人権擁護委員
	小 林 正 稔	しらかばこども家庭支援ステーション副所長

(6) 海老名市社会教育委員会議

【委嘱期間：令和7年6月1日～令和8年5月31日】

役職	氏名	所属等
委員	金 田 ゆかり	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (元今泉中学校PTA会長)
	栗 山 明 郎	社会教育関係者 (海老名市自治会連絡協議会代表)
	里 村 修 平	社会教育関係者 (海老名市文化芸術協会代表)
	三 田 英 樹	学識経験者 (青健連今里支部長)
	鈴 木 剛	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (海老名市PTA連絡協議会副会長)
	中 谷 美 砂	社会教育関係者 (海老名市スポーツ協会代表)
	中 野 隆 則	学識経験者 (元青少年指導員連絡協議会会長)
	橋 本 絵美里	学識経験者 (元柏ヶ谷中学校PTA会長)
	松 島 希	社会教育関係者 (海老名市学童保育連絡協議会代表)
	和 田 修 二	学校教育関係者 (海老名市小中学校長会連絡協議会代表)

3 海老名市教育委員会のあゆみ

明治	5	学制発布
	6	大谷・今泉・国分学舎等が開校
	22	町村制施行(海老名村・有馬村)
	25	有馬小学校開校
	42	海老名小学校開校
大正	10	相模国分寺跡が国指定史跡に指定
	22	海老名中学校開校
昭和		有馬中学校開校
	25	海老名村が海老名町となる
	30	海老名町と有馬村が合併
	31	有馬小学校開校
	39	柏ヶ谷小学校開校
	43	教育委員会：総務課、社会教育課、学校教育課
	44	大谷小学校開校
	46	市制施行(海老名市)
	47	上星小学校、中新田小学校開校
	48	門沢橋小学校開校
		学校給食センター操業開始
		小学校・中学校給食の開始
	49	海西中学校開校
	50	東柏ヶ谷小学校開校
	51	柏ヶ谷中学校開校
	53	社家小学校開校
		連合運動会の開始
	54	杉久保小学校開校
	55	大谷中学校開校
		中央公民館開館
	56	今泉小学校開校
		中学校給食の廃止(牛乳給食へ切替え)
	57	杉本小学校開校
		海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」開館
	59	今泉中学校開校
	60	海老名市立図書館・教育センターが開館
平成	元	海老名市役所庁舎移転
		【事務局機構改革】
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室、 教育センター、学校給食センター、 南部学校給食センター
		社会教育部：社会教育課、体育課、中央公民館、 図書館、青少年相談所
	6	宮城県白石市と姉妹都市締結・教育交流開始
		【機構改革】
		○事務局
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室
		生涯学習部：生涯学習課、体育課
		○出先機関
		教育センター、学校給食センター、南部学校給 食センター、中央公民館、図書館、青少年相談 所
	7	海老名市立有馬図書館が開館
		野外教育施設富士ふれあいの森開所
	9	相模国分尼寺跡が国指定史跡に指定
		【事務局機構改革】
		○事務局
		教育総務部：総務課、学校教育課、指導室
		生涯学習部：生涯学習課、青少年課、体育課
	10	海老名市立青少年会館が開館

平成	14	完全学校週五日制が開始
		【機構改革】
		○事務局
		教育総務部：教育総務課、学校教育課、指導室 生涯学習部：文化財課、生涯学習課、青少年課、スポーツ課
		○出先機関
		教育センター、学校給食センター、南部学校給食センター、図書館
	16	小学校で英語活動の勉強が開始
	17	秋葉山古墳群が国指定史跡に指定
	20	学校給食センター、南部学校給食センターの民間委託
		【機構改革】
		○事務局
		教育部：教育総務課、学校教育課、学校支援課、生涯学習文化財課、青少年課
		○出先機関
		教育センター、中央図書館
令和	22	海老名市立歴史資料収蔵館が開館
		【機構改革】
		教育部：教育総務課、学校教育課、学校支援課、社会教育課、教育センター 青少年会館閉館
	23	市内小中学校のプールを廃止し、公共プールを使用した水泳指導の開始 中央公民館閉館
	24	海老名市食の創造館が開館
		【機構改革】
		教育部：教育総務課、学校教育課、教育指導課
	26	海老名市教育支援センターが開所
	27	海老名市立中央図書館がリニューアルオープン
	28	【機構改革】
		教育部：教育総務課、就学支援課、教育支援課、学び支援課
	2	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業
	3	海老名市立有馬図書館・門沢橋コミュニティセンターがリニューアルオープン 今泉小学校増築校舎完成
	5	海老名市食の創造館別館が開館
6	中学校給食の完全実施	
7	フルインクルーシブ教育の推進	



神奈川県 海老名市教育委員会 教育部 教育総務課 総務係
〒 243-0422 海老名市中新田 377 番地 えびなこどもセンター
Tel 046-235-4916 (直通)
Fax 046-231-0277
E-mail kyoiku-soumu@city.ebina.kanagawa.jp

